

学校コード F134310109900
注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
安田女子大学 現代ビジネス学部 公共経営学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人安田学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	大学事務部庶務課
職名・氏名	庶務課長・本石 智加
電話番号	082-878-8112
(夜間)	082-878-8112
e-mail	syomu.box@yasuda-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

現代ビジネス学部

＜公共経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人安田学園

(2) 大 学 名

安田女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒731-0153

広島県広島市安佐南区安東六丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヤスダ ヒロミ) 安 田 裕 実 (平成20年4月1日)	(セヤマ トシオ) 瀬 山 敏 雄 (令和4年4月1日)	変更の理由：前任者退任によるもの。 変更年月日：令和4年4月1日(4)
学 長	(セヤマ トシオ) 瀬 山 敏 雄 (平成22年4月1日)		
学 部 長	(ツジ ヒデノリ) 辻 秀 典 (平成20年4月1日)		
学科長等	(ニシムラ ヒロミ) 西 村 裕 三 (令和2年4月1日)	(アンドウ ナオキ) 安 東 直 紀 (令和3年4月1日)	変更の理由：前任者退職によるもの。 変更年月日：令和3年4月1日(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
現代ビジネス学部 公共経営学科 学士(現代ビジネス学)	経済学関係	4年	60人	2年次 0人 3年次 1人 4年次 0人	242人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 60 (-) [-]	人 60 (-) [-]	人 60 (1) [-]	人 60 (1) [-]	人 60 (1) [-]	人 60 (1) [-]	人 60 (1) [-]	人 60 (1) [-]	0.76倍	—	0.75倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	177 (-) [-]	170 (-) [-]	134 (0) [-]	169 (-) [-]	134 (0) [-]	169 (-) [-]	134 (0) [-]	169 (-) [-]	0.76倍	—	0.75倍	—	
受験者数	() []	() []	() []	() []	170 (-) [-]	169 (-) [-]	130 (0) [-]	165 (-) [-]	130 (0) [-]	165 (-) [-]	130 (0) [-]	165 (-) [-]	0.76倍	—	0.75倍	—	
合格者数	() []	() []	() []	() []	107 (-) [-]	139 (-) [-]	108 (0) [-]	139 (-) [-]	108 (0) [-]	139 (-) [-]	108 (0) [-]	139 (-) [-]	0.76倍	—	0.75倍	—	
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	36 (-) [-]	57 (-) [-]	37 (0) [-]	53 (-) [-]	37 (0) [-]	53 (-) [-]	37 (0) [-]	53 (-) [-]	0.76倍	—	0.75倍	—	
入学定員超過率 B/A					0.60	0.95	0.61	0.88									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 ・ 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 ・ 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	36 [0] 0	[] ()	57 [0] 0	[] ()	37 [0] 0	[] ()	53 [0] 0	[] ()	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	37 [0] 0	[] ()	57 [0] 0	[] ()	37 [0] 0	[] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	36 [0] 0	[] ()	58 [0] 0	[] ()	
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	35 [0] 0	[] ()	
計			[] ()	[] ()			36 [0] 0	94 [0] 0	130 [0] 0	183 [0] 0			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	36 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	94 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	0 人	他の教育機関への転学(1名)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	130 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	183 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{94} = \boxed{1.06} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{130} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{183} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜現代ビジネス学部 公共経営学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
特別 科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	1			3	2	2				
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	1			3	2	2				
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	1			3	2	2				
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	1			3	2	2				
	小計(4科目)	—	4	0	0	3	2	2				0
共通 教育 科目	キャリアデザインⅠ	1前		2								1
	キャリアデザインⅡ	2後		2								1
教育 科目	ボランティア活動	1・2後		2								1
	インターンシップ	3前		2								1
教育 科目	職と食—パティシエ実習	1・2・3・4 後		1								1
	小計(5科目)	—	0	9	0							2
共通 教育 科目	人間論A	1・2・3・4 前後		2								1
	人間論B	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	こころの科学A	1・2・3・4 前後		2								4
	こころの科学B	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	からだの科学A	1・2・3・4 前後		2								2
	からだの科学B	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	からだの科学C	1・2・3・4 前後		2								1
	人間形成の科学A	1・2・3・4 前後		2								2
教育 科目	人間形成の科学B	1・2・3・4 前後		2								2
	ことばの世界A	1・2・3・4 前後		2								3
教育 科目	ことばの世界B	1・2・3・4 前後		2								3
	日本の文学A	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	日本の文学B	1・2・3・4 前後		2								3
	世界の文学A	1・2・3・4 前後		2								2
教育 科目	世界の文学B	1・2・3・4 前後		2								1
	芸術A	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	芸術B	1・2・3・4 前後		2								2
	現代社会と人間A	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	現代社会と人間B	1・2・3・4 前後		2								3
	21世紀の社会と法A(日本国憲法)	1・2・3・4 前後		2		1						
教育 科目	21世紀の社会と法B	1・2・3・4 前後		2		1						
	21世紀の経済A	1・2・3・4 前後		2								2
教育 科目	21世紀の経済B	1・2・3・4 前後		2								2
	現代のビジネスA	1・2・3・4 前後		2								3
教育 科目	現代のビジネスB	1・2・3・4 前後		2								2
	現代社会と政治A	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	現代社会と政治B	1・2・3・4 前後		2								1
	異文化理解A	1・2・3・4 前後		2								3
教育 科目	異文化理解B	1・2・3・4 前後		2								1
	日本の歴史と文化A	1・2・3・4 前後		2								2
教育 科目	日本の歴史と文化B	1・2・3・4 前後		2								1
	世界の歴史と文化A	1・2・3・4 前後		2								3
教育 科目	世界の歴史と文化B	1・2・3・4 前後		2								1
	国際協力A	1・2・3・4 前後		2		1						1
教育 科目	国際協力B	1・2・3・4 前後		2								1
	数学の世界	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	自然科学の世界A	1・2・3・4 前後		2								2
	自然科学の世界B	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	自然科学の世界C	1・2・3・4 前後		2								2
	生命の科学A	1・2・3・4 前後		2								3
教育 科目	生命の科学B	1・2・3・4 前後		2								6
	生命の科学C	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	環境の科学A	1・2・3・4 前後		2								1
	環境の科学B	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	生活の科学A	1・2・3・4 前後		2								1
	生活の科学B	1・2・3・4 前後		2								1
教育 科目	情報の科学	1・2・3・4 前後		2								3
	小計(47科目)	—	0	94	0	3	0	0	0	0		75
基礎 科目	情報処理基礎Ⅰ	1前		1								2
	情報処理基礎Ⅱ	1前		1								2
	情報処理基礎Ⅲ	1後		1								2
	情報処理基礎Ⅳ	1後		1								2
	情報処理演習A	2前		1								1
	情報処理演習B	2後		1								1
	情報処理演習C	3前		1								1
	情報処理演習D	3後		1								1

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
特別 科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	1			7	1	2					
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	1			7	1	2					
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	1			7	1	2					
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	1			7	1	2					
小計(4科目)			－	4	0	0	7	1	2			0	
共通 教育 科目	キャリアデザインⅠ	1前		2		1						1	
	キャリアデザインⅡ	2後		2		1						1	
教育 科目	ボランティア活動	1・2後		2		1		1				1	
	インターンシップ	3前		2		1						1	
教育 科目	職と食－パティシエ実習	1・2・3・4 後		1								1	
	小計(5科目)	－	0	9	0	1		1				1	
共通 教育 科目	人間論A	1・2・3・4 前後		2								1	
	人間論B	1・2・3・4 前後		2		1						1	
	こころの科学A	1・2・3・4 前後		2								2	
	こころの科学B	1・2・3・4 前後		2								1	
	からだの科学A	1・2・3・4 前後		2								2	
	からだの科学B	1・2・3・4 前後		2								1	
	からだの科学C	1・2・3・4 前後		2								1	
	人間形成の科学A	1・2・3・4 前後		2								1	
	人間形成の科学B	1・2・3・4 前後		2			1					1	
	ことばの世界A	1・2・3・4 前後		2								2	
	ことばの世界B	1・2・3・4 前後		2								3	
	日本の文学A	1・2・3・4 前後		2								2	
	日本の文学B	1・2・3・4 前後		2								1	
	世界の文学A	1・2・3・4 前後		2								2	
	世界の文学B	1・2・3・4 前後		2								1	
教育 科目	芸術A	1・2・3・4 前後		2								1	
	芸術B	1・2・3・4 前後		2								2	
	現代社会と人間A	1・2・3・4 前後		2								2	
	現代社会と人間B	1・2・3・4 前後		2				1				3	
	21世紀の社会と法A(日本国憲法)	1・2・3・4 前後		2		1						1	
	21世紀の社会と法B	1・2・3・4 前後		2		1						1	
	21世紀の経済A	1・2・3・4 前後		2		1						2	
	21世紀の経済B	1・2・3・4 前後		2								2	
	現代のビジネスA	1・2・3・4 前後		2								2	
	現代のビジネスB	1・2・3・4 前後		2								2	
教育 科目	現代社会と政治A	1・2・3・4 前後		2		1	1					1	
	現代社会と政治B	1・2・3・4 前後		2				1				1	
	異文化理解A	1・2・3・4 前後		2								3	
	異文化理解B	1・2・3・4 前後		2								1	
	日本の歴史と文化A	1・2・3・4 前後		2								1	
	日本の歴史と文化B	1・2・3・4 前後		2		1	1					1	
	世界の歴史と文化A	1・2・3・4 前後		2								3	
	世界の歴史と文化B	1・2・3・4 前後		2								1	
	国際協力A	1・2・3・4 前後		2		1						1	
	国際協力B	1・2・3・4 前後		2		1						1	
教育 科目	数学の世界	1・2・3・4 前後		2								1	
	自然科学の世界A	1・2・3・4 前後		2								1	
	自然科学の世界B	1・2・3・4 前後		2								1	
	自然科学の世界C	1・2・3・4 前後		2								2	
	生命の科学A	1・2・3・4 前後		2								3	
	生命の科学B	1・2・3・4 前後		2								6	
	生命の科学C	1・2・3・4 前後		2								1	
	環境の科学A	1・2・3・4 前後		2								1	
	環境の科学B	1・2・3・4 前後		2								1	
	生活の科学A	1・2・3・4 前後		2								1	
	生活の科学B	1・2・3・4 前後		2								1	
	情報の科学	1・2・3・4 前後		2								2	
	小計(47科目)			－	0	94	0	4	1	1	0	0	64
	基礎 科目	情報処理基礎Ⅰ	1前		1								2
		情報処理基礎Ⅱ	1前		1								2
情報処理基礎Ⅲ		1後		1								2	
情報処理基礎Ⅳ		1後		1								2	
情報処理演習A		2前		1								1	
情報処理演習B		2後		1								1	
情報処理演習C		3前		1								1	
情報処理演習D		3後		1								1	

科目 区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
スポーツ基礎教育科目	健康スポーツA	1・2・3・4 前		1							1	
	健康スポーツB	1・2・3・4前		1							1	
	健康スポーツC	1・2・3・4後		1							1	
	健康スポーツD	1・2・3・4後		1							1	
	野外活動	1・2・3・4前		2							1	
基礎科目 共通教育科目 外国語科目	英語リーディングⅠ	1前		1							2	
	英語リーディングⅡ	1後		1							2	
	英語ライティングⅠ	2前後		1							2	
	英語ライティングⅡ	2前後		1							1	
	英語コミュニケーションⅠ	1前		1							1	
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1							1	
	英語コミュニケーションⅢ	2前後		1							1	
	英語コミュニケーションⅣ	2前後		1							1	
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前		1							1	
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1							1	
	フランス語コミュニケーションⅢ	2前		1							1	
	フランス語コミュニケーションⅣ	2後		1							1	
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1							1	
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1							1	
	中国語コミュニケーションⅢ	2前		1							1	
	中国語コミュニケーションⅣ	2後		1							1	
基礎基礎教育科目	北米文化語学演習	1・2・3後		2							1	
	中国文化語学演習	1・2・3・4前		2							1	
	基礎国語演習	1前後		1							1	
	基礎社会演習	1前後		1							1	
	基礎数学演習	1前後		1							1	
	基礎理科演習	1後		1							1	
	基礎生物演習	1前		1							1	
	基礎化学演習	1前		1							2	
基礎物理演習	1前		1							1		
小計(38科目)			—	0	41	0					20	
専門教育科目 専門基礎科目	公共経営学概論Ⅰ	1前	2			2	2	1				
	公共経営学概論Ⅱ	1後	2			1	1	1				
	公共経営基礎演習Ⅰ	1後	1			1	1	1				
	公共経営基礎演習Ⅱ	2前	1			1	1	1				
	公共経営基礎演習Ⅲ	2後	1			1	1	1				
	ビジネススキル演習	1前		1							2	
	ビジネススキル実践演習	1後		1							2	
	サービスコミュニケーション論	2前		2							1	
	サービスコミュニケーション演習	2後		1							1	
	キャリア形成論	1前	2								1	
	ソーシャルマネジメント	1前		2			2					
	人間行動学	1後	2			1						
	リーダーシップ論	1後		2							1	
	プレゼンテーション演習	2前		1							2	
	日本文化論	2後		2							1	
	ボランティア論	2後		2							1	
小計(16科目)			—	11	14	0	3	2	1	0	0	7
専門教育科目 専門基幹科目 経営・経済	経営学	1前	2								1	
	経営管理論	2前	2			1	1				1	
	行政経営論	2後	2				1					
	産業組織論	3前		2				1				
	マーケティング論Ⅰ	3前	2								1	
	マーケティング論Ⅱ	3後		2							1	
	経済学	1前	2			1		1				
	ミクロ経済学	1後	2					1				
	マクロ経済学	2前	2								1	
	ゲーム理論	2前	2					1				
	公共経済学	2後	2			1						
	地域経済学	3後	2			1						
	環境経済学	3後	2			1						
	行動経済学	3前	2								1	
	経済史	3前		2				1				
	地域デザイン	3・4前		2			1					
	環境科学概論	1後		2		1						
	国際経済論	3・4前		2				1			2	
	国際ビジネス法	3・4後		2		1						
	国際NGO論	3・4後		2		1						
	簿記・会計学Ⅰ	1前		2							1	
	簿記・会計学Ⅱ	1後		2							1	
財務諸表論	3・4後		2							1		
金融論	2後		2		1					1		
人的資源論	2・3・4後		2							1		
会社法	3後		2		1							
小計(26科目)			—	26	26	0	3	1	1	0	0	5

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
スポーツ 基礎教育 科目	健康スポーツA	1・2・3・4 前		1			1					2
	健康スポーツB	1・2・3・4前		1								1
	健康スポーツC	1・2・3・4後		1								1
	健康スポーツD	1・2・3・4後		1			1					1
	野外活動	1・2・3・4前		2			1					1
基礎科目 共通教育 外国語科目	英語リーディングⅠ	1前		1								3
	英語リーディングⅡ	1後		1								3
	英語ライティングⅠ	2前後		1								2
	英語ライティングⅡ	2前後		1								1
	英語コミュニケーションⅠ	1前		1								2
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	英語コミュニケーションⅢ	2前後		1								2
	英語コミュニケーションⅣ	2前後		1								2
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	フランス語コミュニケーションⅢ	2前		1								1
	フランス語コミュニケーションⅣ	2後		1								1
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	中国語コミュニケーションⅢ	2前		1								1
	中国語コミュニケーションⅣ	2後		1								1
基礎基礎 教育科目	北米文化語学演習	1・2・3後		2								1
	中国文化語学演習	1・2・3・4前		2								1
	基礎国語演習	1前後		1				1				1
	基礎社会演習	1前後		1								1
	基礎数学演習	1前後		1								1
	基礎理科演習	1後		1								1
	基礎生物演習	1前		1								1
	基礎化学演習	1前		1								2
基礎物理演習	1前		1								1	
小計(38科目)			—	0	41	0	1		1			20
専門教育 科目 専門基礎 科目	公共経営学概論Ⅰ	1前	2				5	1	1			1
	公共経営学概論Ⅱ	1後	2				3	1	1			1
	公共経営基礎演習Ⅰ	1後	1				3	1	2			1
	公共経営基礎演習Ⅱ	2前	1				3	1	2			
	公共経営基礎演習Ⅲ	2後	1				3	1	2			
	ビジネススキル演習	1前		1								1
	ビジネススキル実践演習	1後		1								1
	サービスコミュニケーション論	2前		2								1
	サービスコミュニケーション演習	2後		1								1
	キャリア形成論	1前	2					1				1
	ソーシャルマネジメント	1前		2			2	1				
	人間行動学	1後	2				1					
	リーダーシップ論	1後		2								2
	プレゼンテーション演習	2前		1								1
	日本文化論	2後		2								1
	ボランティア論	2後		2			1	1				1
	小計(16科目)			—	11	14	0	7	1	2	0	0
専門教育 科目 専門基幹 科目 経営・ 経済	経営学	1前	2				1					1
	経営管理論	2前	2				1	1				1
	行政経営論	2後	2				1	1				
	産業組織論	3前		2			1		1			1
	マーケティング論Ⅰ	3前	2									1
	マーケティング論Ⅱ	3後		2								1
	経済学	1前	2				1		1			1
	ミクロ経済学	1後	2				1		1			1
	マクロ経済学	2前	2						1			1
	ゲーム理論	2前	2						1			1
	公共経済学	2後	2				1					
	地域経済学	3後	2				1					1
	環境経済学	3後	2				1					1
	行動経済学	3前	2									1
	経済史	3前		2					1			1
	地域デザイン	3・4前		2			1	1				
	環境科学概論	1後		2			1					
	国際経済論	3・4前		2					1			3
	国際ビジネス法	3・4後		2			1					
	国際NGO論	3・4後		2			1					
	簿記・会計学Ⅰ	1前		2								1
	簿記・会計学Ⅱ	1後		2								1
財務諸表論	3・4後		2								1	
金融論	2後		2			1					1	
人的資源論	2・3・4後		2								1	
会社法	3後		2			1						
小計(26科目)			—	26	26	0	4	0	0	0	0	10

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必	選	自	教	准	講	助	助	
			修	択	由	授	教授	師	教	手	
専門教育科目 専門関連科目 行政	政治学	3前	2				1				1
	行政学	3後		2			1	1			
	財政学	3前	2								
	地方財政論	3後		2			1				
	国際政治学	3・4前		2			1				
	公共政策論	2後	2					1			
	公共政策展開	3前		2			1				
	文化政策論	2後		2		1					
	都市政策ワークショップ	3・4前		2			1	1			
	公共政策ワークショップ	3・4後		2			1	1			
専門教育科目 専門関連科目 法律	民法	1後	2			1					1
	民法展開	2前		2		1					
	憲法	2後	2			1					
	憲法展開	3前		2		1					
	労働法	2後	2								
	行政法	3前		2		1					
	刑法	3後		2							
	地方自治法	3後		2		1					
	税法Ⅰ	3後		2							
	税法Ⅱ	4前		2							
社会 心理	社会学	1後	2			1					1
	公共哲学	2前	2			1					
	社会保障論	2前		2							
社会 心理	集団心理学	2・3・4前		2							1
	感情・人格心理学	2・3・4後		2							
	人間関係論	2・3・4後		2		1					
専門教育科目 専門関連科目 ICT	データサイエンスⅠ	2前	2								1
	データサイエンスⅡ	2後	2								
	データサイエンス演習Ⅰ	2後									
	データサイエンス演習Ⅱ	3前		2							
	ビジネス情報処理演習	3・4前		2							
	情報マネジメント演習	3・4後		2							
小計(32科目)		—	20	44	0	3	2	1	0	0	9
専門演習・卒業研究	公共政策演習Ⅰ	3前		1		2	2	1			
	公共政策演習Ⅱ	3後		1		2	2	1			
	公共政策演習Ⅲ	4前		1		2	2	1			
	総合ビジネス演習Ⅰ	3前		1		2		1			
	総合ビジネス演習Ⅱ	3後		1		2		1			
	総合ビジネス演習Ⅲ	4前		1		2		1			
	卒業研究Ⅰ	3前	2			4	2	2			
	卒業研究Ⅱ	3後	2			4	2	2			
	卒業研究Ⅲ	4前	2			4	2	2			
	卒業研究Ⅳ	4後	2			4	2	2			
小計(10科目)		—	8	6	0	4	2	2	0	0	0
合計(178科目)		—	69	234	0	4	2	2	0	0	96
卒業要件及び履修方法											
特別科目4単位、共通教育科目32単位以上、専門教育科目必修科目65単位、専門教育科目選択科目7単位以上、共通教育科目及び専門教育科目の選択科目から20単位以上を修得し、128単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:原則 48単位(年間))											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	教授	師	教	手		
専門教育科目 専門関連科目 行政	政治学	3前	2			1	1				1	
	行政学	3後		2		1	1	1				
	財政学	3前	2									
	地方財政論	3後		2		1	1					
	国際政治学	3・4前		2		1	1					
	公共政策論	2後	2					1				
	公共政策展開	3前		2		1	1					
	文化政策論	2後		2		1						
	都市政策ワークショップ	3・4前		2		2	1	1				
	公共政策ワークショップ	3・4後		2		2	1	1				
専門教育科目 専門関連科目 法律	民法	1後	2			1					1	
	民法展開	2前		2		1						
	憲法	2後	2			1						
	憲法展開	3前		2		1						
	労働法	2後	2									
	行政法	3前		2		1						
	刑法	3後		2		1						
	地方自治法	3後		2		1						
	税法Ⅰ	3後		2								
	税法Ⅱ	4前		2								
心理	社会学	1後	2			1					1	
	公共哲学	2前	2			1						
	社会保障論	2前		2		1	1					
社会	集団心理学	2・3・4前		2							1	
	感情・人格心理学	2・3・4後		2							1	
	人間関係論	2・3・4後		2		1					1	
専門教育科目 専門関連科目 ICT	データサイエンスⅠ	2前	2								1	
	データサイエンスⅡ	2後	2								1	
	データサイエンス演習Ⅰ	2後		2							1	
	データサイエンス演習Ⅱ	3前		2							1	
	ビジネス情報処理演習	3・4前		2							1	
	情報マネジメント演習	3・4後		2							1	
小計(32科目)			—	20	44	0	6	1	1	0	0	9
専門演習・卒業研究	公共政策演習Ⅰ	3前		1		5	1	1				
	公共政策演習Ⅱ	3後		1		5	1	1				
	公共政策演習Ⅲ	4前		1		5	1	1				
	総合ビジネス演習Ⅰ	3前		1		1		1				
	総合ビジネス演習Ⅱ	3後		1		1		1				
	総合ビジネス演習Ⅲ	4前		1		1		1				
	卒業研究Ⅰ	3前	2			7	1	2				
	卒業研究Ⅱ	3後	2			7	1	2				
	卒業研究Ⅲ	4前	2			7	1	2				
	卒業研究Ⅳ	4後	2			7	1	2				
小計(10科目)			—	8	6	0	7	1	2	0	0	0
合計(178科目)			—	69	234	0	7	1	2	0	0	90
卒業要件及び履修方法												
卒業するために必要な総単位数は128単位で、特別科目4単位、共通教育科目32単位以上、専門教育科目92単位以上を修得すること。専門教育科目の選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。 (履修科目の登録の上限:原則 48単位(年間))												

【令和4年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
特別 科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	1			6	2	2				
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	1			6	2	2				
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	1			6	2	2				
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	1			6	2	2				
	小計(4科目)	—	4	0	0	6	2	2			0	
キャリア 教育 科目	キャリアデザインⅠ	1前		2		1					1	
	キャリアデザインⅡ	2後		2		1					1	
	ボランティア活動	1・2後		2		1		1			1	
	インターンシップ	3前		2		1					1	
	職と食—パティシエ実習	1・2・3・4後		1							1	
小計(5科目)		—	0	9	0	1		1			1	
共通 教育 科目	人間論A	1・2・3・4前後		2							1	
	人間論B	1・2・3・4前後		2		1					1	
	こころの科学A	1・2・3・4前後		2							2	
	こころの科学B	1・2・3・4前後		2							1	
	からだの科学A	1・2・3・4前後		2							2	
	からだの科学B	1・2・3・4前後		2							1	
	からだの科学C	1・2・3・4前後		2							1	
	人間形成の科学A	1・2・3・4前後		2							1	
	人間形成の科学B	1・2・3・4前後		2			1				1	
	ことばの世界A	1・2・3・4前後		2							2	
	ことばの世界B	1・2・3・4前後		2							3	
	日本の文学A	1・2・3・4前後		2							2	
	日本の文学B	1・2・3・4前後		2							2	
	世界の文学A	1・2・3・4前後		2							2	
教養 科目	世界の文学B	1・2・3・4前後		2							1	
	芸術A	1・2・3・4前後		2							1	
	芸術B	1・2・3・4前後		2							2	
	現代社会と人間A	1・2・3・4前後		2							2	
	現代社会と人間B	1・2・3・4前後		2				1			3	
	21世紀の社会と法A(日本国憲法)	1・2・3・4前後		2		1					1	
	21世紀の社会と法B	1・2・3・4前後		2		1					1	
	21世紀の経済A	1・2・3・4前後		2		1					2	
	21世紀の経済B	1・2・3・4前後		2		1					2	
	現代のビジネスA	1・2・3・4前後		2							2	
	現代のビジネスB	1・2・3・4前後		2							2	
	現代社会と政治A	1・2・3・4前後		2			1				1	
	現代社会と政治B	1・2・3・4前後		2				1			1	
	共通 教育 科目	異文化理解A	1・2・3・4前後		2							3
異文化理解B		1・2・3・4前後		2							1	
日本の歴史と文化A		1・2・3・4前後		2							1	
日本の歴史と文化B		1・2・3・4前後		2			1				1	
世界の歴史と文化A		1・2・3・4前後		2							3	
世界の歴史と文化B		1・2・3・4前後		2							1	
国際協力A		1・2・3・4前後		2		1					1	
国際協力B		1・2・3・4前後		2		1					1	
数学の世界		1・2・3・4前後		2							1	
自然科学の世界A		1・2・3・4前後		2							2	
自然科学の世界B		1・2・3・4前後		2							1	
自然科学の世界C		1・2・3・4前後		2							2	
生命の科学A		1・2・3・4前後		2							3	
生命の科学B		1・2・3・4前後		2							6	
共通 教育 科目	生命の科学C	1・2・3・4前後		2							1	
	環境の科学A	1・2・3・4前後		2							1	
	環境の科学B	1・2・3・4前後		2							1	
	生活の科学A	1・2・3・4前後		2							1	
	生活の科学B	1・2・3・4前後		2							1	
	情報の科学	1・2・3・4前後		2							2	
	小計(47科目)		—	0	94	0	3	2	1	0	0	66
	基礎 科目 共通 教育 科目	情報処理基礎Ⅰ	1前		1							2
		情報処理基礎Ⅱ	1前		1							2
		情報処理基礎Ⅲ	1後		1							2
		情報処理基礎Ⅳ	1後		1							2
		情報処理演習A	2前		1							1
		情報処理演習B	2後		1							1
		情報処理演習C	3前		1							1
情報処理演習D		3後		1							1	
大 学 基礎 科目 共通 教育 科目	健康スポーツA	1・2・3・4前後		1		1					2	
	健康スポーツB	1・2・3・4期		1							1	
	健康スポーツC	1・2・3・4後		1							1	
	健康スポーツD	1・2・3・4後		1		1					1	
	野外活動	1・2・3・4期		2		1					1	

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
特別 科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	1			5	2	2				
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	1			5	2	2				
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	1			5	2	2				
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	1			5	2	2				
	小計(4科目)	—	4	0	0	5	2	2			0	
キャリア 教育 科目	キャリアデザインⅠ	1前		2		1					1	
	キャリアデザインⅡ	2後		2		1					1	
	ボランティア活動	1・2後		2		1		1			1	
	インターンシップ	3前		2		1					1	
	職と食—パティシエ実習	1・2・3・4後		1							1	
	小計(5科目)	—	0	9	0	1		1			1	
共通 教育 科目 教養 科目 人間 理解	人間論A	1・2・3・4 前後		2							1	
	人間論B	1・2・3・4 前後		2		1					1	
	こころの科学A	1・2・3・4 前後		2							3	
	こころの科学B	1・2・3・4 前後		2							1	
	からだの科学A	1・2・3・4 前後		2							2	
	からだの科学B	1・2・3・4 前後		2							1	
	からだの科学C	1・2・3・4 前後		2							1	
	人間形成の科学A	1・2・3・4 前後		2							1	
	人間形成の科学B	1・2・3・4 前後		2			1				1	
	ことばの世界A	1・2・3・4 前後		2							3	
	ことばの世界B	1・2・3・4 前後		2							3	
	日本の文学A	1・2・3・4 前後		2							2	
	日本の文学B	1・2・3・4 前後		2							2	
	世界の文学A	1・2・3・4 前後		2							2	
	世界の文学B	1・2・3・4 前後		2							1	
教養 科目 社会 理解	芸術A	1・2・3・4 前後		2							1	
	芸術B	1・2・3・4 前後		2							1	
	現代社会と人間A	1・2・3・4 前後		2							2	
	現代社会と人間B	1・2・3・4 前後		2				1			3	
	21世紀の社会と法A(日本国憲法)	1・2・3・4 前後		2			1				1	
	21世紀の社会と法B	1・2・3・4 前後		2			1				2	
	21世紀の経済A	1・2・3・4 前後		2				1			1	
	21世紀の経済B	1・2・3・4 前後		2							2	
	現代のビジネスA	1・2・3・4 前後		2							2	
	現代のビジネスB	1・2・3・4 前後		2							2	
	現代社会と政治A	1・2・3・4 前後		2			1				1	
	現代社会と政治B	1・2・3・4 前後		2				1			1	
	教養 科目 社会 理解	異文化理解A	1・2・3・4 前後		2							3
		異文化理解B	1・2・3・4 前後		2							1
		日本の歴史と文化A	1・2・3・4 前後		2							1
日本の歴史と文化B		1・2・3・4 前後		2			1				1	
世界の歴史と文化A		1・2・3・4 前後		2							3	
世界の歴史と文化B		1・2・3・4 前後		2							1	
国際協力A		1・2・3・4 前後		2		1					1	
国際協力B		1・2・3・4 前後		2		1					1	
教養 科目 科学 技術 理解		数学の世界	1・2・3・4 前後		2							1
		自然科学の世界A	1・2・3・4 前後		2							2
		自然科学の世界B	1・2・3・4 前後		2							1
		自然科学の世界C	1・2・3・4 前後		2							2
		生命の科学A	1・2・3・4 前後		2							3
		生命の科学B	1・2・3・4 前後		2							6
		生命の科学C	1・2・3・4 前後		2							1
	環境の科学A	1・2・3・4 前後		2							1	
	環境の科学B	1・2・3・4 前後		2							1	
	生活の科学A	1・2・3・4 前後		2							1	
	生活の科学B	1・2・3・4 前後		2							1	
	情報の科学	1・2・3・4 前後		2							2	
		小計(47科目)	—	0	94	0	2	2	1	0	0	69
	基礎 科目 情報 処理 科目	情報処理基礎Ⅰ	1前		1							2
		情報処理基礎Ⅱ	1前		1							2
情報処理基礎Ⅲ		1後		1							2	
情報処理基礎Ⅳ		1後		1							2	
情報処理演習A		2前		1							1	
情報処理演習B		2後		1							1	
情報処理演習C		3前		1							1	
情報処理演習D		3後		1							1	
スポ ーツ 基礎 科目	健康スポーツA	1・2・3・4 前後		1		1					2	
	健康スポーツB	1・2・3・4前		1							1	
	健康スポーツC	1・2・3・4後		1							1	
	健康スポーツD	1・2・3・4後		1		1					1	
	野外活動	1・2・3・4前		2		1					1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基礎科目 共通教育科目 外国語科目	英語リーディングⅠ	1前		1								3	
	英語リーディングⅡ	1後		1								3	
	英語ライティングⅠ	2前後		1								2	
	英語ライティングⅡ	2前後		1								1	
	英語コミュニケーションⅠ	1前		1								2	
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1								2	
	英語コミュニケーションⅢ	2前後		1								2	
	英語コミュニケーションⅣ	2前後		1								2	
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前		1								1	
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1								1	
	フランス語コミュニケーションⅢ	2前		1								1	
	フランス語コミュニケーションⅣ	2後		1								1	
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1								1	
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1								1	
	中国語コミュニケーションⅢ	2前		1								1	
	中国語コミュニケーションⅣ	2後		1								1	
	1・2・3期	2		2								1	
	1・2・3・4期	2		2								1	
	基礎科目 基礎養成科目	基礎国語演習	1前後		1				1				1
		基礎社会演習	1前後		1								1
基礎数学演習		1前後		1								1	
基礎理科演習		1後		1								1	
基礎生物演習		1前		1								1	
基礎化学演習		1前		1								2	
基礎物理演習		1前		1								1	
小計(38科目)		—	0	41	0	1		1				20	
専門教育科目 専門基礎科目	公共経営学概論Ⅰ	1前	2			4	2	1				1	
	公共経営学概論Ⅱ	1後	2			3	1	1				1	
	公共経営基礎演習Ⅰ	1後	1			2	1	2				1	
	公共経営基礎演習Ⅱ	2前	1			2	1	2					
	公共経営基礎演習Ⅲ	2後	1			2	1	2					
	ビジネススキル演習	1前		1								1	
	ビジネススキル実践演習	1後		1								1	
	サービスコミュニケーション論	2前		2								1	
	サービスコミュニケーション演習	2後		1								1	
	キャリア形成論	1前	2				1					1	
	ソーシャルマネジメント	1前	2			1	1						
	人間行動学	1後	2			1							
	リーダーシップ論	1後		2								2	
	プレゼンテーション演習	2前		1								1	
	日本文化論	2後		2								1	
	ボランティア論	2後		2		1	1					1	
小計(16科目)	—	11	14	0	6	2	2	0	0		7		
専門教育科目 専門基幹科目 経営・経済	経営学	1前	2			1						1	
	経営管理論	2前	2			1	1					1	
	行政経営論	2後	2			1	1						
	産業組織論	3前		2		1		1				1	
	マーケティング論Ⅰ	3前	2									1	
	マーケティング論Ⅱ	3後	2									1	
	経済学	1前	2			1		1				1	
	ミクロ経済学	1後	2			1		1				1	
	マクロ経済学	2前	2									1	
	ゲーム理論	2前	2					1				1	
	公共経済学	2後	2			1							
	地域経済学	3後	2			1						1	
	環境経済学	3後	2			1						1	
	行動経済学	3前	2									1	
	経済史	3前		2				1				1	
	地域デザイン	3・4前	2			1	1						
	環境科学概論	1後	2			1							
	国際経済論	3・4前	2					1				3	
	国際ビジネス法	3・4後	2			1							
	国際NGO論	3・4後	2			1							
簿記・会計学Ⅰ	1前	2									1		
簿記・会計学Ⅱ	1後	2									1		
財務諸表論	3・4後	2									1		
金融論	2後	2		2	1						1		
人的資源論	2・3・4後	2		2							1		
会社法	3後	2		2	1								
小計(26科目)	—	26	26	0	4	0	0	0	0		10		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	教 授	師	教	手		
基礎 科目 共通 教育 科目 外国 語科 目	英語リーディングⅠ	1前	1									3
	英語リーディングⅡ	1後	1									3
	英語ライティングⅠ	2前後	1									2
	英語ライティングⅡ	2前後	1									1
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									2
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									2
	英語コミュニケーションⅢ	2前後	1									2
	英語コミュニケーションⅣ	2前後	1									2
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1									1
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1									1
	フランス語コミュニケーションⅢ	2前	1									1
	フランス語コミュニケーションⅣ	2後	1									1
	中国語コミュニケーションⅠ	1前	1									1
	中国語コミュニケーションⅡ	1後	1									1
	中国語コミュニケーションⅢ	2前	1									1
	中国語コミュニケーションⅣ	2後	1									1
1・2・3期	2										1	
1・2・3・4期	2										1	
基礎 養成 科目	基礎国語演習	1前後	1					1				1
	基礎社会演習	1前後	1									1
	基礎数学演習	1前後	1									1
	基礎理科演習	1後	1									1
	基礎生物演習	1前	1									1
	基礎化学演習	1前	1									2
	基礎物理演習	1前	1									1
	小計(38科目)	—	0	41	0	1		1				20
専門 教育 科目 専門 基礎 科目	公共経営学概論Ⅰ	1前	2			3	2	1				1
	公共経営学概論Ⅱ	1後	2			2	1	1				1
	公共経営基礎演習Ⅰ	1後	1			1	1	2				1
	公共経営基礎演習Ⅱ	2前	1			1	1	2				
	公共経営基礎演習Ⅲ	2後	1			1	1	2				
	ビジネススキル演習	1前		1								2
	ビジネススキル実践演習	1後		1								2
	サービスコミュニケーション論	2前		2								1
	サービスコミュニケーション演習	2後		1								1
	キャリア形成論	1前	2				1					1
	ソーシャルマネジメント	1前	2			1	1					
	人間行動学	1後	2			1						
	リーダーシップ論	1後		2								2
	プレゼンテーション演習	2前		1								1
	日本文化論	2後		2								1
	ボランティア論	2後		2		1	1					1
小計(16科目)	—	11	14	0	5	2	2	0	0		8	
専門 教育 科目 専門 基幹 科目 経営・ 経済	経営学	1前	2			1						1
	経営管理論	2前	2			1	1					1
	行政経営論	2後	2			1	1					
	産業組織論	3前		2		1		1				
	マーケティング論Ⅰ	3前	2									1
	マーケティング論Ⅱ	3後	2									1
	経済学	1前	2			1		1				1
	ミクロ経済学	1後	2			1		1				
	マクロ経済学	2前	2									1
	ゲーム理論	2前	2					1				1
	公共経済学	2後	2			1						
	地域経済学	3後	2			1						
	環境経済学	3後	2			1						
	行動経済学	3前	2									1
	経済史	3前		2				1				
	地域デザイン	3・4前	2			1	1					
	環境科学概論	1後	2			1						
	国際経済論	3・4前	2					1				2
	国際ビジネス法	3・4後	2			1						
	国際NGO論	3・4後	2			1						
簿記・会計学Ⅰ	1前	2									1	
簿記・会計学Ⅱ	1後	2									1	
財務諸表論	3・4後	2									1	
金融論	2後	2			1						1	
人的資源論	2・3・4後	2									1	
会社法	3後		2		1							
小計(26科目)	—	26	26	0	4	0	0	0	0		8	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	教授	師	教	手		
専門教育科目 専門関連科目 行政	政治学	3前	2				1					1
	行政学	3後		2			1	1				
	財政学	3前	2									
	地方財政論	3後		2		1	1					
	国際政治学	3・4前		2			1					
	公共政策論	2後	2					1				
	公共政策展開	3前		2		1	1					
	文化政策論	2後		2		1						
	都市政策ワークショップ	3・4前		2		2	1	1				
	公共政策ワークショップ	3・4後		2		2	1	1				
専門教育科目 専門関連科目 法律	民法	1後	2			1						1 <

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准	講	助	助			
			修	択	由	授	教授	師	教	手			
専門教育科目 専門関連科目 行政	政治学	3前	2				1						
	行政学	3後		2			1	1					
	財政学	3前	2									1	
	地方財政論	3後		2		1	1						
	国際政治学	3・4前		2			1						
	公共政策論	2後	2					1					
	公共政策展開	3前		2		1	1						
	文化政策論	2後		2		1							
	都市政策ワークショップ	3・4前		2		1	1	1					
	公共政策ワークショップ	3・4後		2		1	1	1					
専門教育科目 専門関連科目 法律	民法	1後	2			1							
	民法展開	2前		2		1							
	憲法	2後	2			1						1	
	憲法展開	3前		2		1							
	労働法	2後	2									1	
	行政法	3前		2		1							
	刑法	3後		2								1	
	地方自治法	3後		2		1							
	税法Ⅰ	3後		2								1	
	税法Ⅱ	4前		2								1	
心理 社会	社会学	1後	2			1							
	公共哲学	2前	2			1							
	社会保障論	2前		2			1					1	
	集団心理学	2・3・4前		2								1	
社会	感情・人格心理学	2・3・4後		2								1	
	人間関係論	2・3・4後		2		1						1	
	専門教育科目 専門関連科目 ICT	データサイエンスⅠ	2前	2									1
		データサイエンスⅡ	2後	2									1
データサイエンス演習Ⅰ		2後		2								1	
データサイエンス演習Ⅱ		3前		2								1	
ビジネス情報処理演習		3・4前		2								1	
情報マネジメント演習		3・4後		2								1	
小計(32科目)			—	20	44	0	3	1	1	0	0	10	
専門演習・卒業研究	公共政策演習Ⅰ	3前		1		2	1	1					
	公共政策演習Ⅱ	3後		1		2	1	1					
	公共政策演習Ⅲ	4前		1		2	1	1					
	総合ビジネス演習Ⅰ	3前		1		1		1					
	総合ビジネス演習Ⅱ	3後		1		1		1					
	総合ビジネス演習Ⅲ	4前		1		1		1					
	卒業研究Ⅰ	3前	2			5	2	2					
	卒業研究Ⅱ	3後	2			5	2	2					
	卒業研究Ⅲ	4前	2			5	2	2					
卒業研究Ⅳ	4後	2			5	2	2						
小計(10科目)			—	8	6	0	5	2	2	0	0	0	
合計(178科目)			—	69	234	0	5	2	2	0	0	97	
卒業要件及び履修方法													
卒業するために必要な総単位数は128単位で、特別科目4単位、共通教育科目32単位以上、専門教育科目92単位以上を修得すること。専門教育科目の選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。 (履修科目の登録の上限:原則 48単位(年間))													

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	1			3	2	1			
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	1			3	2	1			
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	1			3	2	1			
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	1			3	2	1			
小計(4科目)		—	4	0	0	3	2	1			0
キャリア教育科目	キャリアデザインⅠ	1前		2							1
	キャリアデザインⅡ	2後		2							1
	ボランティア活動	1・2後		2							1
	インターンシップ	3前		2							1
共通教育科目	職と食—パティシエ実習	1・2・3・4後		1							1
	小計(5科目)	—	0	9	0						2
共通教育科目 教養科目 人間理解	人間論A	1・2・3・4前後		2							1
	人間論B	1・2・3・4前後		2		1					1
	こころの科学A	1・2・3・4前後		2							4
	こころの科学B	1・2・3・4前後		2							1
	からだの科学A	1・2・3・4前後		2							2
	からだの科学B	1・2・3・4前後		2							1
	からだの科学C	1・2・3・4前後		2							1
	人間形成の科学A	1・2・3・4前後		2							2
	人間形成の科学B	1・2・3・4前後		2							2
	ことばの世界A	1・2・3・4前後		2							3
	ことばの世界B	1・2・3・4前後		2							3
	日本の文学A	1・2・3・4前後		2							2
	日本の文学B	1・2・3・4前後		2							3
	世界の文学A	1・2・3・4前後		2							2
	世界の文学B	1・2・3・4前後		2							1
	芸術A	1・2・3・4前後		2							1
	芸術B	1・2・3・4前後		2							2
教養科目 共通教育科目 社会理解	現代社会と人間A	1・2・3・4前後		2							2
	現代社会と人間B	1・2・3・4前後		2				1			3
	21世紀の社会と法A(日本国憲法)	1・2・3・4前後		2		1					1
	21世紀の社会と法B	1・2・3・4前後		2		1					1
	21世紀の経済A	1・2・3・4前後		2		1					2
	21世紀の経済B	1・2・3・4前後		2							3
	現代のビジネスA	1・2・3・4前後		2							3
	現代のビジネスB	1・2・3・4前後		2							2
	現代社会と政治A	1・2・3・4前後		2			1				1
	現代社会と政治B	1・2・3・4前後		2				1			1
教養科目 共通教育科目 社会理解	異文化理解A	1・2・3・4前後		2							3
	異文化理解B	1・2・3・4前後		2							1
	日本の歴史と文化A	1・2・3・4前後		2							1
	日本の歴史と文化B	1・2・3・4前後		2			1				1
	世界の歴史と文化A	1・2・3・4前後		2							3
	世界の歴史と文化B	1・2・3・4前後		2							1
	国際協力A	1・2・3・4前後		2		1					1
	国際協力B	1・2・3・4前後		2		1					1
教養科目 共通教育科目 科学技術理解	数学の世界	1・2・3・4前後		2							1
	自然科学の世界A	1・2・3・4前後		2							2
	自然科学の世界B	1・2・3・4前後		2							1
	自然科学の世界C	1・2・3・4前後		2							2
	生命の科学A	1・2・3・4前後		2							3
	生命の科学B	1・2・3・4前後		2							6
	生命の科学C	1・2・3・4前後		2							1
	環境の科学A	1・2・3・4前後		2							1
	環境の科学B	1・2・3・4前後		2							1
	生活の科学A	1・2・3・4前後		2							1
基礎科目 共通教育科目 情報処理科目	生活の科学B	1・2・3・4前後		2							1
	情報の科学	1・2・3・4前後		2							2
	小計(47科目)	—	0	94	0	3	0	0	0	0	74
	情報処理基礎Ⅰ	1前	1								2
	情報処理基礎Ⅱ	1前	1								2
	情報処理基礎Ⅲ	1後	1								2
	情報処理基礎Ⅳ	1後	1								2
	情報処理演習A	2前	1								1
	情報処理演習B	2後	1								1
	情報処理演習C	3前	1								1
	情報処理演習D	3後	1								1
スポーツ科目 共通教育科目	健康スポーツA	1・2・3・4前後		1							2
	健康スポーツB	1・2・3・4前		1							1
	健康スポーツC	1・2・3・4後		1							1
	健康スポーツD	1・2・3・4後		1							1
	野外活動	1・2・3・4前		2							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	教授	師	教	手		
基礎 科目 共通 教育 外国 語 科目	英語リーディングⅠ	1前		1								3
	英語リーディングⅡ	1後		1								3
	英語ライティングⅠ	2前後		1								2
	英語ライティングⅡ	2前後		1								1
	英語コミュニケーションⅠ	1前		1								2
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	英語コミュニケーションⅢ	2前後		1								2
	英語コミュニケーションⅣ	2前後		1								2
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前		1								+
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1								+
	フランス語コミュニケーションⅢ	2前		1								+
	フランス語コミュニケーションⅣ	2後		1								+
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	中国語コミュニケーションⅢ	2前		1								1
	中国語コミュニケーションⅣ	2後		1								1
	北米文化語学演習	1・2・3後		2								1
	中国文化語学演習	1・2・3・4前		2								1
基礎 養成 科目 共通 教育 科目	基礎国語演習	1前後		1								1
	基礎社会演習	1前後		1								1
	基礎数学演習	1前後		1								1
	基礎理科演習	1後		1								1
	基礎生物演習	1前		1								1
	基礎化学演習	1前		1								2
	基礎物理演習	1前		1								1
	小計(38科目)	—	0	41	0							22
専門 教育 科目 専門 基礎 科目	公共経営学概論Ⅰ	1前	2			2	2	1				
	公共経営学概論Ⅱ	1後	2			1	1	1				
	公共経営基礎演習Ⅰ	1後	1			1	1	1				
	公共経営基礎演習Ⅱ	2前	1			1	1	1				
	公共経営基礎演習Ⅲ	2後	1			1	1	1				
	ビジネススキル演習	1前		1								2
	ビジネススキル実践演習	1後		1								2
	サービスコミュニケーション論	2前		2								1
	サービスコミュニケーション演習	2後		1								1
	キャリア形成論	1前	2									1
	ソーシャルマネジメント	1前		2			2					
	人間行動学	1後	2			1						
	リーダーシップ論	1後		2								2
	プレゼンテーション演習	2前		1								2
専門 教育 科目 専門 基礎 科目 経営 ・ 経済	日本文化論	2後		2								1
	ボランティア論	2後		2								1
	小計(16科目)	—	11	14	0	3	2	1	0	0		8
	経営学	1前	2									1
	経営管理論	2前	2			1	1					1
	行政経営論	2後	2				1					
	産業組織論	3前		2		1		+				
	マーケティング論Ⅰ	3前	2									1
	マーケティング論Ⅱ	3後		2								1
	経済学	1前	2			1		+				
	ミクロ経済学	1後	2			1		+				
	マクロ経済学	2前	2									1
	ゲーム理論	2前	2					+				1
	公共経済学	2後	2			1						
専門 基礎 科目 経営 ・ 経済	地域経済学	3後	2			1						
	環境経済学	3後	2			1						
	行動経済学	3前	2									1
	経済史	3前		2				+				
	地域デザイン	3・4前		2			1					
	環境科学概論	1後		2		1						
	国際経済論	3・4前		2				+				2
	国際ビジネス法	3・4後		2		1						
	国際NGO論	3・4後		2		1						
	簿記・会計学Ⅰ	1前		2								1
	簿記・会計学Ⅱ	1後		2								1
	財務諸表論	3・4後		2								1
	金融論	2後		2		1						1
	人的資源論	2・3・4後		2								1
	会社法	3後		2		1						
小計(26科目)	—	26	26	0	3	1	1	0	0		7	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必	選	自	教	准	講	助	助	
			修	択	由	授	教授	師	教	手	
専門教育科目 専門関連科目 行政	政治学	3前	2				1				1
	行政学	3後		2			1	1			
	財政学	3前	2								
	地方財政論	3後		2			1				
	国際政治学	3・4前		2			1				
	公共政策論	2後	2					1			
	公共政策展開	3前		2			1				
	文化政策論	2後		2		1					
	都市政策ワークショップ	3・4前		2			1	1			
	公共政策ワークショップ	3・4後		2			1	1			
専門教育科目 専門関連科目 法律	民法	1後	2			1					1
	民法展開	2前		2		1					
	憲法	2後	2			1					
	憲法展開	3前		2		1					
	労働法	2後	2								
	行政法	3前		2		1					
	刑法	3後		2							
	地方自治法	3後		2		1					
	税法Ⅰ	3後		2							
	税法Ⅱ	4前		2							
心理	社会学	1後	2			1					1
	公共哲学	2前	2			1					
	社会保障論	2前		2							
社会	集団心理学	2・3・4前		2							1
	感情・人格心理学	2・3・4後		2							
	人間関係論	2・3・4後		2		1					
専門教育科目 ICT	データサイエンスⅠ	2前	2								1
	データサイエンスⅡ	2後	2								
	データサイエンス演習Ⅰ	2後		2							
	データサイエンス演習Ⅱ	3前		2							
	ビジネス情報処理演習	3・4前		2							
	情報マネジメント演習	3・4後		2							
小計(32科目)		—	20	44	0	3	2	1	0	0	9
専門演習・卒業研究	公共政策演習Ⅰ	3前		1		2	2	1			
	公共政策演習Ⅱ	3後		1		2	2	1			
	公共政策演習Ⅲ	4前		1		2	2	1			
	総合ビジネス演習Ⅰ	3前		1		2		1			
	総合ビジネス演習Ⅱ	3後		1		2		1			
	総合ビジネス演習Ⅲ	4前		1		2		1			
	卒業研究Ⅰ	3前	2			4	2	1			
	卒業研究Ⅱ	3後	2			4	2	1			
	卒業研究Ⅲ	4前	2			4	2	1			
	卒業研究Ⅳ	4後	2			4	2	1			
小計(10科目)		—	8	6	0	4	2	1	0	0	0
合計(178科目)		—	69	234	0	4	2	1	0	0	98
卒業要件及び履修方法											
卒業するために必要な総単位数は128単位で、特別科目4単位、共通教育科目32単位以上、専門教育科目92単位以上を修得すること。専門教育科目の選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。 (履修科目の登録の上限:原則 48単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

・全学で文言を揃えるため、「卒業要件及び履修方法」を「特別科目4単位、共通教育科目32単位以上、専門教育科目必修科目65単位、専門教育科目選択科目7単位以上、共通教育科目及び専門教育科目の選択科目から20単位以上を修得し、128単位以上修得すること。」から「卒業するために必要な総単位数は128単位で、特別科目4単位、共通教育科目32単位以上、専門教育科目92単位以上を修得すること。専門教育科目の選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。」に変更。

【令和3年度】

一身上の都合により退職のため、専任教員3名（教授2名）削除、新たに4名（教授2名、准教授1名、講師1名）追加。

兼任教員8名を削除し、新たに7名を追加。

兼任講師3名を削除。

【令和4年度】

専任教員1名（教授）追加。

兼任教員4名を削除し、新たに2名を追加。

兼任講師1名を削除。

【令和5年度】

兼任教員4名を削除し、新たに兼任教員3名を追加。

兼任教員3名を削除。

1名兼任から兼任へ変更。

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
38 科目	140 科目	0 科目	178 科目	38 科目 []	140 科目 []	0 科目 []	178 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{178} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	安田女子短期大学（必要面積（3,000㎡）と共用			
	校 舎 敷 地	0㎡	62,201㎡	0㎡	62,201㎡				
	運動場用地	0㎡	16,431㎡	0㎡	16,431㎡				
	小 計	0㎡	78,632㎡	0㎡	78,632㎡				
	そ の 他	0㎡	56,422㎡	0㎡	56,422㎡				
	合 計	0㎡	135,054㎡	0㎡	135,054㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	安田女子短期大学（必要面積（2,850㎡）と共用 短期大学専用施設として計上（831㎡）			
		17,638㎡ ()	58,886㎡ ()	831㎡ ()	77,355㎡ ()				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学・短期大学全体 ノートPC教室を情報処理学習施設とする		
		59室	13室	135室	19室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		現代ビジネス学部 公共経営学科			10 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学科単位での特定不能なため、大学・短期大学全体の数	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕					
		点	点	点					
		点	点	点					
	〇〇学部	350,000 [63,000] (338,112 [58,649])	6,100 [2,900] (8,281 [2,469])	4,000 [2,600] (3,676 [2,096])	5,100 (9,739)	()	()		
	計	350,000 [63,000] (338,112 [58,649])	6,100 [2,900] (8,281 [2,469])	4,000 [2,600] (3,676 [2,096])	5,100 (9,739)	()	()		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		4,597㎡		468席		410,000冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		2,622.76㎡		テニスコート3面		弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	460千円	460千円	図書購入費	0千円	590千円	2,280千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	1,416千円	5,472千円		
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	納付金	1,100千円	1,100千円	1,100千円	1,080千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		各年度の手数料収入、資産運用収入、雑収入等をこれに充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「（5）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字に**してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学名	安田女子大学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
文学部	4	230	3年次人	928	-	0.87	-	0.85	-	年度	年度	-	令和4年度編入学定員(-7)				
日本文学科	4	90	3年次1	362	学士(文学)	0.99	-	0.98	-	昭和41	昭和41	広島県広島市安佐南区安東六丁目13番1号					
書道学科	4	30	3年次1	122	学士(文学)	0.93	-	0.9	-	平成23	平成23	同上					
英語英米文学科	4	110	3年次2	444	学士(文学)	0.75	-	0.72	-	昭和41	昭和41	同上					
教育学部	4	150	3年次3	606	-	0.93	-	0.91	-								
児童教育学科	4	150	3年次3	606	学士(教育学)	0.93	-	0.91	-	平成24	平成24	同上					
心理学部	4	150	3年次2	544	-	1.04	-	1.02	-								
現代心理学科	4	90	3年次1	302	学士(心理学)	1.01	-	1.08	-	令和4	平成24	同上					
ビジネス心理学科	4	60	3年次1	242	学士(心理学)	0.96	-	0.95	-		平成30	同上					
現代ビジネス学部	4	240	3年次3	966	-	0.94	-	0.93	-								
現代ビジネス学科	4	90	3年次1	362	学士(現代ビジネス学)	1.03	-	1.02	-		平成15	同上					
国際観光ビジネス学科	4	90	3年次1	362	学士(現代ビジネス学)	0.96	-	0.95	-		平成27	同上					
公共経営学科	4	60	3年次1	242	学士(現代ビジネス学)	0.76	-	0.75	-		令和2	同上					
家政学部	4	355	3年次2	1374	-	1.00	-	1.00	-								
生活デザイン学科	4	160	3年次2	584	学士(家政学)	1.03	-	1.04	-	令和4	平成16	同上					
管理栄養学科	4	120	-	480	学士(家政学)	0.97	-	0.96	-		平成16	同上					
造形デザイン学科	4	75	-	310	学士(家政学)	0.97	-	0.97	-		平成28	同上					
薬学部	6	100	3年次2	648	-	0.94	-	0.90	-								
			4年次2														
薬学科	6	100	3年次2	648	学士(薬学)	0.94	-	0.90	-		平成19	同上					
			4年次2														
看護学部	4	120	-	480	-	1.07	-	1.07	-								
看護学科	4	120	-	480	学士(看護学)	1.07	-	1.07	-		平成26	同上					
大学全体	-	1345	18	5546	-	-	-	-	-	-	-	-	令和4年度3年次編入学定員(+2)				
													4年次編入学定員(+2)				

大 学 の 名 称	安 田 女 子 短 期 大 学									平均入学定員 超過率0.7倍以 下の学科数	1	平均入学定員 超過率1.15倍 以上の学科数	1	収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数	1	収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数	1
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考				
保育科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (保育)	倍		倍	倍	年度	年度	広島県広島市 安佐南区安東 六丁目13番1号					
短期大学全体	2	150	-	300	-	-	-	-	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜現代ビジネス学部 公共経営学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	専 教授・ 学科長	西村 裕三 (68) ＜令和2年4月＞ 法学修士	21世紀の社会と法A（日本国憲法）、公共経営学概論Ⅰ、憲法、憲法展開、行政法、地方自治法、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	相澤 吉晴 (66) ＜令和2年4月＞ 法学修士	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、21世紀の社会と法B、民法、民法展開、会社法、国際ビジネス法、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	尾崎 雅彦 (63) ＜令和2年4月＞ 修士(環境マネジメント)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、公共経営学概論Ⅰ、公共経営学概論Ⅱ、公共経営基礎演習Ⅰ、公共経営基礎演習Ⅱ、公共経営基礎演習Ⅲ、経営管理論、経済学、公共経済学、地域経済学、金融論、環境経済学、総合ビジネス演習Ⅰ、総合ビジネス演習Ⅱ、総合ビジネス演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	青木 克仁 (62) ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、国際協力A、国際協力B、人間行動学、社会学、公共哲学、文化政策論、環境科学概論、国際NGO論、人間関係論、総合ビジネス演習Ⅰ、総合ビジネス演習Ⅱ、総合ビジネス演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 准教授	安東 直紀 (49) ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、公共経営学概論Ⅰ、公共経営学概論Ⅱ、ソーシャルマネジメント、経営管理論、行政経営論、公共政策展開、都市政策ワークショップ、地域デザイン、地方財政論、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	専 教授・ 学科長	西村 裕三 (68) ＜令和2年4月＞ 法学修士	21世紀の社会と法A（日本国憲法）、公共経営学概論Ⅰ、憲法、憲法展開、行政法、地方自治法、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	相澤 吉晴 (66) ＜令和2年4月＞ 法学修士	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、21世紀の社会と法B、民法、民法展開、会社法、国際ビジネス法、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	尾崎 雅彦 (63) ＜令和2年4月＞ 修士(環境マネジメント)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、公共経営学概論Ⅰ、公共経営学概論Ⅱ、公共経営基礎演習Ⅰ、公共経営基礎演習Ⅱ、公共経営基礎演習Ⅲ、経営管理論、経済学、公共経済学、地域経済学、金融論、環境経済学、総合ビジネス演習Ⅰ、総合ビジネス演習Ⅱ、総合ビジネス演習Ⅲ、 ミクロ経済学、21世紀の経済学A 、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	青木 克仁 (62) ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、国際協力A、 国際協力B、人間行動学、社会学、公共哲学、文化政策論、環境科学概論、国際NGO論、人間関係論、総合ビジネス演習Ⅰ、総合ビジネス演習Ⅱ、総合ビジネス演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 准教授	安東 直紀 (49) ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、公共経営学概論Ⅰ、公共経営学概論Ⅱ、ソーシャルマネジメント、経営管理論、行政経営論、公共政策展開、都市政策ワークショップ、地域デザイン、地方財政論、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	専 教授	相澤 吉晴 (67) ＜令和2年4月＞ 法学修士	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、21世紀の社会と法B、民法、民法展開、会社法、国際ビジネス法、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、 公共経営学概論Ⅰ 、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	青木 克仁 (63) ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、国際協力A、 国際協力B、人間行動学、社会学、公共哲学、文化政策論、環境科学概論、国際NGO論、人間関係論、総合ビジネス演習Ⅰ、総合ビジネス演習Ⅱ、総合ビジネス演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授・ 学科長	折本 浩一 (67) ＜令和2年4月＞ 体育学修士	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ、ボランティア活動、インターンシップ、健康スポーツA、健康スポーツD、野外活動、ボランティア論、 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	専 教授	相澤 吉晴 (68) ＜令和2年4月＞ 法学修士	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、21世紀の社会と法B、民法、民法展開、会社法、国際ビジネス法、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、 公共経営学概論Ⅰ 、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	青木 克仁 (64) ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、国際協力A、 国際協力B、人間行動学、社会学、公共哲学、文化政策論、環境科学概論、国際NGO論、総合ビジネス演習Ⅰ、総合ビジネス演習Ⅱ、総合ビジネス演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授・ 学科長	折本 浩一 (69) ＜令和2年4月＞ 体育学修士	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ、ボランティア活動、インターンシップ、健康スポーツA、健康スポーツD、野外活動、ボランティア論、 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	専 教授	相澤 吉晴 (69) ＜令和2年4月＞ 法学修士	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、21世紀の社会と法B、民法、民法展開、会社法、国際ビジネス法、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、 公共経営学概論Ⅰ 、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授	青木 克仁 (65) ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、国際協力A、 国際協力B、人間行動学、社会学、公共哲学、文化政策論、環境科学概論、国際NGO論、総合ビジネス演習Ⅰ、総合ビジネス演習Ⅱ、総合ビジネス演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ
専	専 教授・ 学科長	折本 浩一 (69) ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	まほろば教養ゼミⅠ、まほろば教養ゼミⅡ、まほろば教養ゼミⅢ、まほろば教養ゼミⅣ、公共経営学概論Ⅰ、公共経営学概論Ⅱ、ソーシャルマネジメント、経営管理論、都市政策ワークショップ、公共政策ワークショップ、地域デザイン、地方財政論、公共政策演習Ⅰ、公共政策演習Ⅱ、公共政策演習Ⅲ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業研究Ⅲ、卒業研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	田中 丈夫 (72) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	田中 丈夫 (72) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	田中 丈夫 (73) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	田中 丈夫 (74) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	
		からだの科学 C			からだの科学 C			からだの科学 C			からだの科学 C			
兼任	教授	山内 廣隆 (71) <令和2年4月> 博士（文学）	兼任	教授	山内 廣隆 (71) <令和2年4月> 博士（文学）	兼任	教授	山内 廣隆 (72) <令和2年4月> 博士（文学）	兼任	教授	山内 廣隆 (73) <令和2年4月> 博士（文学）	兼任	教授	山内 廣隆 (74) <令和2年4月> 博士（文学）
		人間論 A			人間論 A			人間論 A			人間論 A			人間論 A
兼任	教授	徳村 彰 (71) <令和2年4月> 農学博士	兼任	教授	徳村 彰 (71) <令和2年4月> 農学博士	兼任	教授	徳村 彰 (72) <令和2年4月> 農学博士	兼任	教授	徳村 彰 (73) <令和2年4月> 農学博士	兼任	教授	徳村 彰 (74) <令和2年4月> 農学博士
		環境の科学 A			環境の科学 A			環境の科学 A			環境の科学 A			環境の科学 A
兼任	教授	江口 公治 (70) <令和2年4月> 理学修士	兼任	教授	江口 公治 (70) <令和2年4月> 理学修士	兼任	教授	江口 公治 (71) <令和2年4月> 理学修士	兼任	教授	江口 公治 (72) <令和2年4月> 理学修士	兼任	教授	江口 公治 (73) <令和2年4月> 理学修士
		自然科学の世界 A、基礎理科演習、基礎物理演習			基礎物理演習			基礎物理演習			基礎物理演習			基礎物理演習
兼任	教授	町 博光 (69) <令和2年4月> 博士（文学）	兼任	教授	町 博光 (69) <令和2年4月> 博士（文学）	兼任	教授	町 博光 (70) <令和2年4月> 博士（文学）	兼任	教授				
		ことばの世界 A			ことばの世界 A			ことばの世界 A						
兼任	教授	徳永 隆治 (69) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	教授	徳永 隆治 (69) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	教授	徳永 隆治 (70) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	教授	徳永 隆治 (71) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	教授	徳永 隆治 (72) <令和2年4月> 教育学修士
		現代社会と人間 B			現代社会と人間 B			現代社会と人間 B			現代社会と人間 B			現代社会と人間 B
兼任	教授	山田 修三 (69) <令和2年4月> 保健福祉学修士	兼任	教授	山田 修三 (69) <令和2年4月> 保健福祉学修士									
		人間形成の科学 B			人間形成の科学 B									
兼任	教授	藤本 和男 (68) <令和2年4月> 博士（工学）	兼任	教授	藤本 和男 (68) <令和2年4月> 博士（工学）	兼任	教授	藤本 和男 (69) <令和2年4月> 博士（工学）	兼任	教授	藤本 和男 (70) <令和2年4月> 博士（工学）	兼任	教授	藤本 和男 (71) <令和2年4月> 博士（工学）
		生活の科学 B			生活の科学 B			生活の科学 B			生活の科学 B			生活の科学 B
兼任	教授	大庭 由子 (68) <令和2年4月> 修士（学術）	兼任	教授	大庭 由子 (68) <令和2年4月> 修士（学術）	兼任	教授	大庭 由子 (69) <令和2年4月> 修士（学術）						
		ビジネススキル演習、ビジネススキル実践演習、異文化理解 B、国際協力 A			ビジネススキル演習、ビジネススキル実践演習、異文化理解 B、国際協力 A	兼任	教授	ビジネススキル演習、ビジネススキル実践演習、異文化理解 B、国際協力 A						
兼任	教授	松岡 博信 (67) <令和2年4月> 博士（教育学）	兼任	教授	松岡 博信 (67) <令和2年4月> 博士（教育学）	兼任	教授	松岡 博信 (68) <令和2年4月> 博士（教育学）	兼任	教授	松岡 博信 (69) <令和2年4月> 博士（教育学）	兼任	教授	松岡 博信 (70) <令和2年4月> 博士（教育学）
		ことばの世界 B			ことばの世界 B			ことばの世界 B			ことばの世界 B			ことばの世界 B
兼任	教授	信廣 友江 (67) <令和2年4月> 博士（学術）	兼任	教授	信廣 友江 (67) <令和2年4月> 博士（学術）	兼任	教授	信廣 友江 (68) <令和2年4月> 博士（学術）	兼任	教授	信廣 友江 (69) <令和2年4月> 博士（学術）	兼任	教授	信廣 友江 (70) <令和2年4月> 博士（学術）
		芸術 B			芸術 B			芸術 B			芸術 B			芸術 B
兼任	教授	野邊 政雄 (67) <令和2年4月> 博士（社会学）	兼任	教授	野邊 政雄 (67) <令和2年4月> 博士（社会学）	兼任	教授	野邊 政雄 (68) <令和2年4月> 博士（社会学）	兼任	教授	野邊 政雄 (69) <令和2年4月> 博士（社会学）	兼任	教授	野邊 政雄 (70) <令和2年4月> 博士（社会学）
		人間論 B			人間論 B			人間論 B			人間論 B			人間論 B
兼任	教授	杉山 陽二 (67) <令和2年4月> 修士（工学）												
		芸術 A												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	竹田 敏彦 (67) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	竹田 敏彦 (67) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	竹田 敏彦 (68) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	竹田 敏彦 (69) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	竹田 敏彦 (70) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		人間形成の科学 A			人間形成の科学 A			人間形成の科学 A			人間形成の科学 A			人間形成の科学 A
兼任	教授	藤原 佐枝子 (67) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	藤原 佐枝子 (67) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	藤原 佐枝子 (68) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	藤原 佐枝子 (69) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	藤原 佐枝子 (70) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		からだの科学 B			からだの科学 B			からだの科学 B			からだの科学 B			からだの科学 B
兼任	教授	折本 浩一 (66) ＜令和2年4月＞ 体育学修士	兼任	教授	折本 浩一 (66) ＜令和2年4月＞ 体育学修士	兼任	教授		兼任	教授		兼任	教授	
		キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ、ボランティア活動、インターンシップ、健康スポーツA、健康スポーツD、野外活動、ボランティア論			キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ、ボランティア活動、インターンシップ、健康スポーツA、健康スポーツD、野外活動、ボランティア論									
兼任	教授	畑井 淳一 (66) ＜令和2年4月＞ M.A.(Education, Applied Linguistics) (オーストラリア)	兼任	教授	畑井 淳一 (66) ＜令和2年4月＞ M.A.(Education, Applied Linguistics) (オーストラリア)	兼任	教授	畑井 淳一 (67) ＜令和2年4月＞ M.A.(Education, Applied Linguistics) (オーストラリア)	兼任	教授	畑井 淳一 (68) ＜令和2年4月＞ M.A.(Education, Applied Linguistics) (オーストラリア)	兼任	教授	畑井 淳一 (69) ＜令和2年4月＞ M.A.(Education, Applied Linguistics) (オーストラリア)
		日本文化論、異文化理解 A			日本文化論、異文化理解 A			日本文化論、異文化理解 A			日本文化論、異文化理解 A			日本文化論、異文化理解 A
兼任	教授	赤木 玲子 (66) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	赤木 玲子 (66) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	赤木 玲子 (67) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	赤木 玲子 (68) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	赤木 玲子 (69) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B
兼任	教授	井上 典子 (66) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	井上 典子 (66) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	井上 典子 (67) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	井上 典子 (68) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	井上 典子 (69) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B
兼任	教授	岩田 高明 (65) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	岩田 高明 (65) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	岩田 高明 (66) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授		兼任	教授	
		人間形成の科学 A			人間形成の科学 A			人間形成の科学 A						
兼任	教授	森岡 文泉 (64) ＜令和2年4月＞ 博士(商学)	兼任	教授	森岡 文泉 (64) ＜令和2年4月＞ 博士(商学)	兼任	教授	森岡 文泉 (65) ＜令和2年4月＞ 博士(商学)	兼任	教授	森岡 文泉 (66) ＜令和2年4月＞ 博士(商学)	兼任	教授	森岡 文泉 (67) ＜令和2年4月＞ 博士(商学)
		国際経済論、現代社会と人間A、世界の歴史と文化A、中国語コミュニケーションⅠ、中国語コミュニケーションⅡ、中国語コミュニケーションⅢ、中国語コミュニケーションⅣ、中国語文化語学演習			国際経済論、現代社会と人間A、世界の歴史と文化A、中国語コミュニケーションⅠ、中国語コミュニケーションⅡ、中国語コミュニケーションⅢ、中国語コミュニケーションⅣ、中国語文化語学演習			国際経済論、現代社会と人間A、世界の歴史と文化A、中国語コミュニケーションⅠ、中国語コミュニケーションⅡ、中国語コミュニケーションⅢ、中国語コミュニケーションⅣ、中国語文化語学演習			国際経済論、現代社会と人間A、世界の歴史と文化A、中国語コミュニケーションⅠ、中国語コミュニケーションⅡ、中国語コミュニケーションⅢ、中国語コミュニケーションⅣ、中国語文化語学演習			国際経済論、現代社会と人間A、世界の歴史と文化A、中国語コミュニケーションⅠ、中国語コミュニケーションⅡ、中国語コミュニケーションⅢ、中国語コミュニケーションⅣ、中国語文化語学演習
兼任	教授	箱田 雅之 (64) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	箱田 雅之 (64) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	箱田 雅之 (65) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	箱田 雅之 (66) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼任	教授	箱田 雅之 (67) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B			生命の科学 B
兼任	教授	中西 博 (64) ＜令和2年4月＞ 薬学博士	兼任	教授	中西 博 (64) ＜令和2年4月＞ 薬学博士	兼任	教授	中西 博 (65) ＜令和2年4月＞ 薬学博士	兼任	教授	中西 博 (66) ＜令和2年4月＞ 薬学博士	兼任	教授	中西 博 (67) ＜令和2年4月＞ 薬学博士
		自然科学の世界 C			自然科学の世界 C			自然科学の世界 C			自然科学の世界 C			自然科学の世界 C
兼任	教授	吉目木 晴彦 (63) ＜令和2年4月＞ 法学士	兼任	教授	吉目木 晴彦 (63) ＜令和2年4月＞ 法学士	兼任	教授	吉目木 晴彦 (64) ＜令和2年4月＞ 法学士	兼任	教授	吉目木 晴彦 (65) ＜令和2年4月＞ 法学士	兼任	教授	吉目木 晴彦 (66) ＜令和2年4月＞ 法学士
		日本の文学 B			日本の文学 B			日本の文学 B			日本の文学 B			日本の文学 B
兼任	教授	森本 金次郎 (63) ＜令和2年4月＞ 博士(薬学)	兼任	教授	森本 金次郎 (63) ＜令和2年4月＞ 博士(薬学)	兼任	教授	森本 金次郎 (64) ＜令和2年4月＞ 博士(薬学)	兼任	教授	森本 金次郎 (65) ＜令和2年4月＞ 博士(薬学)	兼任	教授	森本 金次郎 (66) ＜令和2年4月＞ 博士(薬学)
		生命の科学 A			生命の科学 A			生命の科学 A			生命の科学 A			生命の科学 A
兼任	教授	青木 順子 (63) ＜令和2年4月＞ Ph.D.(米国)	兼任	教授	青木 順子 (63) ＜令和2年4月＞ Ph.D.(米国)	兼任	教授	青木 順子 (64) ＜令和2年4月＞ Ph.D.(米国)	兼任	教授	青木 順子 (65) ＜令和2年4月＞ Ph.D.(米国)	兼任	教授	青木 順子 (66) ＜令和2年4月＞ Ph.D.(米国)
		異文化理解 A			異文化理解 A			異文化理解 A			異文化理解 A			異文化理解 A
兼任	教授	藤村 猛 (63) ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	教授	藤村 猛 (63) ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	教授		兼任	教授		兼任	教授	
		日本の文学 B			日本の文学 B									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		友来 亮三 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		からだの科学A、健康スポーツB、健康スポーツC
兼任 教授		十河 正典 (63) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命の科学A
兼任 教授		生中 雅也 (62) ＜令和2年4月＞ 農学博士
		自然科学の世界A
兼任 教授		西 博行 (62) ＜令和2年4月＞ 薬学博士
		自然科学の世界B
兼任 教授		内田 誠一 (60) ＜令和2年4月＞ 文学博士
		世界の文学A
兼任 教授		田村 聡一郎 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		プレゼンテーション演習、ビジネス情報処理演習、情報マネジメント演習、情報の科学
兼任 教授		大山 義彦 (60) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		基礎化学演習
兼任 教授		橋本 正継 (60) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		数学の世界、基礎数学演習
兼任 教授		戸井（鈴木）佳奈子 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		金融論、現代社会と政治B、21世紀の経済A、現代社会と政治A
兼任 教授		山下 明博 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンスⅠ、データサイエンスⅡ、データサイエンス演習Ⅰ、データサイエンス演習Ⅱ、国際協力B
兼任 教授		谷口 邦彦 (59) ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		芸術B
兼任 教授		高口 圭輔 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		ことばの世界B
兼任 教授		竹内 雄司 (58) ＜令和2年4月＞ 経営学修士（専門職）
		キャリア形成論、リーダーシップ論、現代のビジネスB
兼任 教授		西村 基弘 (58) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		生命の科学B、生命の科学C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		友来 亮三 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		からだの科学A、健康スポーツB、健康スポーツC
兼任 教授		十河 正典 (63) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命の科学A
兼任 教授		生中 雅也 (63) ＜令和2年4月＞ 農学博士
		自然科学の世界A
兼任 教授		西 博行 (62) ＜令和2年4月＞ 薬学博士
		自然科学の世界B
兼任 教授		内田 誠一 (60) ＜令和2年4月＞ 文学博士
		世界の文学A
兼任 教授		田村 聡一郎 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		プレゼンテーション演習、ビジネス情報処理演習、情報マネジメント演習、情報の科学
兼任 教授		大山 義彦 (60) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		基礎化学演習
兼任 教授		橋本 正継 (60) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		数学の世界、基礎数学演習
兼任 教授		戸井（鈴木）佳奈子 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		金融論、現代社会と政治B、21世紀の経済A、現代社会と政治A
兼任 教授		山下 明博 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンスⅠ、データサイエンスⅡ、データサイエンス演習Ⅰ、データサイエンス演習Ⅱ、国際協力B、 自然科学の世界A、現代社会と人間A
兼任 教授		谷口 邦彦 (59) ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		芸術B
兼任 教授		高口 圭輔 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		ことばの世界B
兼任 教授		竹内 雄司 (58) ＜令和2年4月＞ 経営学修士（専門職）
		キャリア形成論、リーダーシップ論、現代のビジネスB
兼任 教授		西村 基弘 (58) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		生命の科学B、生命の科学C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		友来 亮三 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		からだの科学A、健康スポーツB、健康スポーツC
兼任 教授		十河 正典 (64) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命の科学A
兼任 教授		生中 雅也 (63) ＜令和2年4月＞ 農学博士
		自然科学の世界A
兼任 教授		西 博行 (63) ＜令和2年4月＞ 薬学博士
		自然科学の世界B
兼任 教授		内田 誠一 (61) ＜令和2年4月＞ 文学博士
		世界の文学A
兼任 教授		田村 聡一郎 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		ビジネス情報処理演習、情報マネジメント演習、情報の科学
兼任 教授		大山 義彦 (61) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		基礎化学演習
兼任 教授		橋本 正継 (61) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		数学の世界、基礎数学演習
兼任 教授		戸井（鈴木）佳奈子 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		金融論、 経済学 、現代社会と政治B、21世紀の経済A、現代社会と政治A
兼任 教授		山下 明博 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス演習Ⅱ、国際協力B、 自然科学の世界A、現代社会と人間A
兼任 教授		谷口 邦彦 (60) ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		芸術B
兼任 教授		高口 圭輔 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		ことばの世界B
兼任 教授		竹内 雄司 (59) ＜令和2年4月＞ 経営学修士（専門職）
		キャリア形成論、リーダーシップ論、現代のビジネスB
兼任 教授		西村 基弘 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		生命の科学B、生命の科学C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		友来 亮三 (65) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		からだの科学A、健康スポーツB、健康スポーツC
兼任 教授		十河 正典 (65) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命の科学A
兼任 教授		生中 雅也 (64) ＜令和2年4月＞ 農学博士
		自然科学の世界A
兼任 教授		西 博行 (64) ＜令和2年4月＞ 薬学博士
		自然科学の世界B
兼任 教授		内田 誠一 (62) ＜令和2年4月＞ 文学博士
		世界の文学A
兼任 教授		田村 聡一郎 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		ビジネス情報処理演習、情報マネジメント演習、情報の科学
兼任 教授		大山 義彦 (62) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		基礎化学演習
兼任 教授		橋本 正継 (62) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		数学の世界、基礎数学演習
兼任 教授		戸井（鈴木）佳奈子 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		金融論、 経済学 、現代社会と政治B、21世紀の経済A、現代社会と政治A
兼任 教授		山下 明博 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス演習Ⅱ、国際協力B、 自然科学の世界A、現代社会と人間A
兼任 教授		谷口 邦彦 (61) ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		芸術B
兼任 教授		高口 圭輔 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		ことばの世界B
兼任 教授		竹内 雄司 (60) ＜令和2年4月＞ 経営学修士（専門職）
		キャリア形成論、リーダーシップ論、現代のビジネスB
兼任 教授		西村 基弘 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		生命の科学B、生命の科学C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		友来 亮三 (66) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		からだの科学A、健康スポーツB、健康スポーツC
兼任 教授		十河 正典 (66) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命の科学A
兼任 教授		生中 雅也 (64) ＜令和2年4月＞ 農学博士
兼任 教授		西 博行 (65) ＜令和2年4月＞ 薬学博士
		自然科学の世界B
兼任 教授		内田 誠一 (63) ＜令和2年4月＞ 文学博士
		世界の文学A
兼任 教授		田村 聡一郎 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		ビジネス情報処理演習、情報マネジメント演習、情報の科学
兼任 教授		大山 義彦 (63) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		基礎化学演習
兼任 教授		橋本 正継 (63) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		数学の世界、基礎数学演習
兼任 教授		戸井（鈴木）佳奈子 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		金融論、 経済学 、現代社会と政治B、21世紀の経済A、現代社会と政治A
兼任 教授		山下 明博 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス演習Ⅱ、国際協力B、 自然科学の世界A、現代社会と人間A
兼任 教授		谷口 邦彦 (62) ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		芸術B
兼任 教授		高口 圭輔 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		ことばの世界B
兼任 教授		竹内 雄司 (61) ＜令和2年4月＞ 経営学修士（専門職）
		キャリア形成論、リーダーシップ論、現代のビジネスB
兼任 教授		西村 基弘 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		生命の科学B、生命の科学C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	西（後藤）まゆみ (56) ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	准教授	西（後藤）まゆみ (56) ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	准教授	西（後藤）まゆみ (57) ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	教授	西（後藤）まゆみ (55) ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	教授	西（後藤）まゆみ (57) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		現代社会と人間B			現代社会と人間B			現代社会と人間B			現代社会と人間B			現代社会と人間B
兼任	准教授	稲垣 昌宣 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）	兼任	准教授	稲垣 昌宣 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）	兼任	教授	稲垣 昌宣 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）	兼任	教授	稲垣 昌宣 (56) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）	兼任	教授	稲垣 昌宣 (57) ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		自然科学の世界C			自然科学の世界C			自然科学の世界C			自然科学の世界C			自然科学の世界C
兼任	准教授	西原 明史 (54) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼任	准教授	西原 明史 (54) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼任	准教授	西原 明史 (55) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼任	准教授	西原 明史 (56) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼任	准教授	西原 明史 (57) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		世界の歴史と文化B			世界の歴史と文化B			世界の歴史と文化B			世界の歴史と文化B			世界の歴史と文化B
兼任	准教授	金沢（金澤）英樹 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（経営情報学）	兼任	准教授	金沢（金澤）英樹 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（経営情報学）	兼任	准教授	金沢（金澤）英樹 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（経営情報学）	兼任	准教授		兼任	准教授	
		プレゼンテーション演習、経営学、経営管理論、マーケティング論Ⅰ、マーケティング論Ⅱ、人的資源論、現代のビジネスA			プレゼンテーション演習、経営学、経営管理論、マーケティング論Ⅰ、マーケティング論Ⅱ、人的資源論、現代のビジネスA			プレゼンテーション演習、経営学、経営管理論、マーケティング論Ⅰ、マーケティング論Ⅱ、人的資源論、現代のビジネスA						
兼任	准教授	立花 知香 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（芸術学）	兼任	准教授	立花 知香 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（芸術学）	兼任	准教授	立花 知香 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（芸術学）	兼任	准教授	立花 知香 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（芸術学）	兼任	准教授	立花 知香 (56) ＜令和2年4月＞ 博士（芸術学）
		ビジネススキル演習、ビジネススキル実践演習、サービスコミュニケーション論、サービスコミュニケーション演習、現代のビジネスA			ビジネススキル演習、ビジネススキル実践演習、サービスコミュニケーション論、サービスコミュニケーション演習、現代のビジネスA			ビジネススキル演習、ビジネススキル実践演習、サービスコミュニケーション論、サービスコミュニケーション演習、現代のビジネスA			ビジネススキル演習、ビジネススキル実践演習、サービスコミュニケーション論、サービスコミュニケーション演習、人間関係論、現代のビジネスA			ビジネススキル演習、ビジネススキル実践演習、サービスコミュニケーション論、サービスコミュニケーション演習、人間関係論、現代のビジネスA
兼任	准教授	R. R. P. Gabbrielli (53) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（フランス）	兼任	准教授	R. R. P. Gabbrielli (53) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（フランス）	兼任	准教授	R. R. P. Gabbrielli (54) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（フランス）	兼任	准教授	R. R. P. Gabbrielli (55) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（フランス）	兼任	准教授	R. R. P. Gabbrielli (56) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（フランス）
		異文化理解A			異文化理解A			異文化理解A			異文化理解A			異文化理解A
兼任	准教授	山本 文枝 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（心理学）	兼任	准教授	山本 文枝 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（心理学）	兼任	准教授	山本 文枝 (54) ＜令和2年4月＞ 修士（心理学）	兼任	准教授	山本 文枝 (55) ＜令和2年4月＞ 修士（心理学）	兼任	准教授	山本 文枝 (56) ＜令和2年4月＞ 修士（心理学）
		こころの科学B			こころの科学B			こころの科学B			こころの科学B			こころの科学B
兼任	准教授	段野 聡子 (52) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授	段野 聡子 (52) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授		兼任	准教授		兼任	准教授	
		簿記・会計学Ⅰ、簿記・会計学Ⅱ、財務諸表論			簿記・会計学Ⅰ、簿記・会計学Ⅱ、財務諸表論									
兼任	准教授	山川 健一 (51) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	山川 健一 (51) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	山川 健一 (52) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	兼任	教授	山川 健一 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	兼任	教授	山川 健一 (54) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		ことばの世界B			ことばの世界B			ことばの世界B			ことばの世界B			ことばの世界B
兼任	准教授	西村 則久 (51) ＜令和2年4月＞ 修士（政策・メディア）	兼任	准教授	西村 則久 (51) ＜令和2年4月＞ 修士（政策・メディア）	兼任	准教授	西村 則久 (52) ＜令和2年4月＞ 修士（政策・メディア）	兼任	准教授	西村 則久 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（政策・メディア）	兼任	准教授	西村 則久 (54) ＜令和2年4月＞ 修士（政策・メディア）
		情報の科学			情報の科学			情報の科学			情報の科学			情報の科学
兼任	准教授	平本 哲嗣 (51) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	平本 哲嗣 (51) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	兼任	准教授	平本 哲嗣 (52) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	平本 哲嗣 (53) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	平本 哲嗣 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		現代社会と人間B、英語ライティングⅠ			現代社会と人間B、英語ライティングⅠ			現代社会と人間B、英語ライティングⅠ			現代社会と人間B、英語ライティングⅠ			現代社会と人間B、英語ライティングⅠ
兼任	准教授	近藤 慎一 (50) ＜令和2年4月＞ 博士（メディア）	兼任	准教授	近藤 慎一 (50) ＜令和2年4月＞ 博士（メディア）	兼任	准教授	近藤 慎一 (51) ＜令和2年4月＞ 博士（メディア）	兼任	准教授	近藤 慎一 (52) ＜令和2年4月＞ 博士（メディア）	兼任	准教授	近藤 慎一 (53) ＜令和2年4月＞ 博士（メディア）
		生命の科学A			生命の科学A			生命の科学A			生命の科学A			生命の科学A
兼任	准教授	宮川（上船）博恵 (50) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	宮川（上船）博恵 (50) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	宮川（上船）博恵 (51) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	宮川（上船）博恵 (52) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	宮川（上船）博恵 (53) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		生活の科学A			生活の科学A			生活の科学A			生活の科学A			生活の科学A
兼任	准教授	Sak Taras Alexander (48) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（米国）	兼任	准教授	Sak Taras Alexander (48) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（米国）	兼任	准教授	Sak Taras Alexander (49) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（米国）	兼任	准教授	Sak Taras Alexander (50) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（米国）	兼任	准教授	Sak Taras Alexander (51) ＜令和2年4月＞ Ph. D.（米国）
		世界の文学B、世界の文学A			世界の文学B、世界の文学A			世界の文学B、世界の文学A			世界の文学B、世界の文学A			世界の文学B、世界の文学A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	小川 麻里 (48) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小川 麻里 (48) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小川 麻里 (50) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小川 麻里 (51) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小川 麻里 (49) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		環境の科学B			環境の科学B			環境の科学B			環境の科学B			環境の科学B
兼任	准教授	高木 久史 (46) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）												
		日本の歴史と文化 A												
兼任	准教授	佐藤 雄一郎 (46) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	佐藤 雄一郎 (46) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	佐藤 雄一郎 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	佐藤 雄一郎 (48) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	佐藤 雄一郎 (49) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		基礎化学演習			基礎化学演習			基礎化学演習			基礎化学演習			基礎化学演習
兼任	准教授	藤原 裕弥 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	藤原 裕弥 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	藤原 裕弥 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	藤原 裕弥 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	藤原 裕弥 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		感情・人格心理学、こころの科学 A			感情・人格心理学、こころの科学 A			感情・人格心理学、こころの科学 A			感情・人格心理学、こころの科学 A			感情・人格心理学、こころの科学 A
兼任	准教授	John McLean (44) ＜令和2年4月＞ M.A.（英国）	兼任	准教授	John McLean (44) ＜令和2年4月＞ M.A.（英国）	兼任	准教授	John McLean (45) ＜令和2年4月＞ M.A.（英国）	兼任	准教授	John McLean (47) ＜令和2年4月＞ M.A.（英国）	兼任	准教授	John McLean (47) ＜令和2年4月＞ M.A.（英国）
		英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、英語コミュニケーションⅣ			英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、英語コミュニケーションⅣ			英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、英語コミュニケーションⅣ			英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、英語コミュニケーションⅣ			英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、英語コミュニケーションⅣ
兼任	准教授	増田 知之 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	増田 知之 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	増田 知之 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	増田 知之 (46) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	増田 知之 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		世界の歴史と文化 A			世界の歴史と文化 A			世界の歴史と文化 A			世界の歴史と文化 A			世界の歴史と文化 A
兼任	准教授	坂口 琢哉 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（政策・メディア）												
		情報の科学												
兼任	准教授	西村 聡生 (40) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	兼任	准教授	西村 聡生 (40) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	兼任	准教授	西村 聡生 (41) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	兼任	准教授	西村 聡生 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	兼任	准教授	西村 聡生 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）
		こころの科学 A			こころの科学 A			こころの科学 A			こころの科学 A			こころの科学 A
			兼任	准教授	土井 徹 (58) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	兼任	准教授	土井 徹 (58) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	土井 徹 (58) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	土井 徹 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
					基礎理科演習			基礎理科演習			基礎理科演習			基礎理科演習
						兼任	准教授	木村 勝則 (58) ＜令和3年4月＞ 修士（公共政策）	兼任	准教授	木村 勝則 (57) ＜令和3年4月＞ 修士（公共政策）	兼任	准教授	木村 勝則 (68) ＜令和3年4月＞ 修士（公共政策）
								簿記・会計学Ⅰ、簿記・会計学Ⅱ、経営管理論			簿記・会計学Ⅰ、簿記・会計学Ⅱ、経営管理論			簿記・会計学Ⅰ、簿記・会計学Ⅱ、経営管理論、税法Ⅰ、税法Ⅱ
						兼任	准教授	山田 耕 (44) ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	山田 耕 (45) ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	山田 耕 (46) ＜令和3年4月＞ 博士（理学）
								データサイエンスⅠ、データサイエンスⅡ、データサイエンス演習Ⅰ			データサイエンスⅠ、データサイエンスⅡ、データサイエンス演習Ⅰ			データサイエンスⅠ、データサイエンスⅡ、データサイエンス演習Ⅰ
兼任	講師	古山 友則 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	古山 友則 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	古山 友則 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授	古山 友則 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授	古山 友則 (46) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		21世紀の経済 A、21世紀の経済 B			21世紀の経済 A、21世紀の経済 B			21世紀の経済 A、21世紀の経済 B			21世紀の経済 A、21世紀の経済 B			21世紀の経済 A、21世紀の経済 B
									兼任	准教授	大谷 映太 (41) ＜令和4年4月＞ 修士（経済学）	兼任	准教授	大谷 映太 (42) ＜令和4年4月＞ 修士（経済学）
											産業組織論、地域経済学、環境経済学、国際経済論、財政学			産業組織論、地域経済学、環境経済学、国際経済論、財政学
									兼任	准教授	Joao Romeo (53) ＜令和4年4月＞ 博士（Tourism）	兼任	准教授	Joao Romeo (54) ＜令和4年4月＞ 博士（Tourism）
											異文化理解 B			異文化理解 B
兼任	講師	平野 真 (40) ＜令和2年9月＞ 博士（薬学）	兼任	講師	平野 真 (40) ＜令和2年9月＞ 博士（薬学）	兼任	講師	平野 真 (41) ＜令和2年9月＞ 博士（薬学）	兼任	講師	平野 真 (42) ＜令和2年9月＞ 博士（薬学）	兼任	講師	平野 真 (43) ＜令和2年9月＞ 博士（薬学）
		北米文化語学演習			北米文化語学演習			北米文化語学演習			北米文化語学演習			北米文化語学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					セツ阿由星子 (46) <令和2年4月> 修士(文学)			セツ阿由星子 (46) <令和2年4月> 修士(文学)			セツ阿由星子 (49) <令和2年4月> 修士(文学)
					英語リーディングⅠ、英語リーディングⅡ			英語リーディングⅠ、英語リーディングⅡ			英語リーディングⅠ、英語リーディングⅡ
					A.Lightfoot (53) <令和2年4月> 修士(言語学)			A.Lightfoot (54) <令和2年4月> 修士(言語学)			A.Lightfoot (55) <令和2年4月> 修士(言語学)
					英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、英語コミュニケーションⅣ			英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、英語コミュニケーションⅣ			英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、英語コミュニケーションⅣ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**既出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

・熊谷講師就任辞退。後任未定であるが、専任教員採用予定。

【令和3年度】

・専任教員の採用等により、必要教員数および必要教授数を確保。

【令和4年度】

特になし

【令和5年度】

特になし

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4	2	2	0	8	0	6	2	2	0	10	0
(4)	(2)	(1)	(0)	(7)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
6	2	2	0	10	0	6	2	2	0	10	0
[2]	[]	[]	[]	[]	[]	[2]	[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授63歳、准教授・講師60歳 歳	4 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{8} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{10} = \boxed{40} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	講師	熊谷 由希	令和2年3月	必修	まほろば教養ゼミⅠ	①	一身上の都合により退職						
				必修	まほろば教養ゼミⅡ	①							
				必修	まほろば教養ゼミⅢ	①							
				必修	まほろば教養ゼミⅣ	①							
				必修	経済学	②							
				必修	ミクロ経済学	②							
				必修	ゲーム理論	②							
				選択	経済史	②							
				選択	産業組織論	②							
				選択	国際経済論	②							
				選択	総合ビジネス演習Ⅰ	①							
				選択	総合ビジネス演習Ⅱ	①							
				選択	総合ビジネス演習Ⅲ	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				必修	卒業研究Ⅲ	①							
				必修	卒業研究Ⅳ	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	11	科目	必修	8	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	11	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	尾崎 雅彦	令和2年9月	必修	まほろば教養ゼミⅠ	①	一身上の都合により退職						
				必修	まほろば教養ゼミⅡ	①							
				必修	まほろば教養ゼミⅢ	①							
				必修	まほろば教養ゼミⅣ	①							
				必修	公共経営学概論Ⅰ	①							
				必修	公共経営学概論Ⅱ	①							
				必修	公共経営基礎演習Ⅰ	①							
				必修	公共経営基礎演習Ⅱ	①							
				必修	公共経営基礎演習Ⅲ	①							
				必修	経営管理論	②							
				必修	経済学	②							
				必修	公共経済学	①							
				必修	地域経済学	①							
				選択	金融論	②							
				必修	環境経済学	②							
				選択	総合ビジネス演習Ⅰ	①							
				選択	総合ビジネス演習Ⅱ	①							
				選択	総合ビジネス演習Ⅲ	①							
				選択	産業組織論	②							
				必修	ミクロ経済学	②							
				選択	21世紀の経済Ⅰ	②							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				必修	卒業研究Ⅲ	①							
				必修	卒業研究Ⅳ	①							
2	教授	西村 裕三	令和3年3月	選択	21世紀の社会と法Ⅰ（日本国憲法）	②	一身上の都合により退職						
				必修	公共経営学概論Ⅰ	①							
				必修	憲法	①							
				選択	憲法展開	①							
				選択	行政法	①							
				選択	地方自治法	①							
				選択	公共政策演習Ⅰ	①							
				選択	公共政策演習Ⅱ	①							
				選択	公共政策演習Ⅲ	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				必修	卒業研究Ⅲ	①							
				必修	卒業研究Ⅳ	①							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2	人	必修	25	科目	必修	21	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	9	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	38	科目	計	30	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3	人	必修	36 科目	必修	29 科目	必修	7 科目	必修	0 科目		
		選択	19 科目	選択	12 科目	選択	7 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	55 科目	計	41 科目	計	14 科目	計	0 科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{8} = \boxed{37.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

他の教員が授業科目を担当することから、学生の履修等への影響はないと考えている。
 学生への周知については、履修手続のガイダンス等で担当者の変更等について説明している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(現代ビジネス学部公共経営学科)	【届出】 遵守事項	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な教員組織の編制に努めること。(教育学部児童教育学科)	【A C】 指摘事項 (改善)	履行中
	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な教員組織の編制に努めること。(現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科)	【A C】 指摘事項 (改善)	履行中
	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(現代ビジネス学部公共経営学科)	【A C】 指摘事項 (改善)	履行中

設置計画履行状況 調査結果 (令和3年度)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(教育学部児童教育学科)	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に専任教員(17名)のうち定年規程を超える者は2名であり、その割合は12%であった。平成30年5月1日には定年規程を超える者9名が在職しており、その割合は47.4%であった。平成31年4月1日付けで34歳の教員採用を行ったが、令和元年5月1日には定年規程を超える者が10名となったため、その割合は55.6%であった。令和2年5月1日には、平均年齢は56歳であり、定年規程を超える者は5名となり、その割合は33.3%であった。令和3年5月1日現在、平均年齢は56歳であり、定年規程を超える者は7名で、その割合は41.2%である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等(特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ)ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科)	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に専任教員(10名)のうち定年規程を超える者は3名であり、その割合は30%であった。平成30年5月1日には定年規程を超える者4名が在職しており、その割合は44.4%であった。令和元年5月1日には、平均年齢は61歳、定年規程を超える者が5名となり、その割合は55.6%であった。令和2年5月1日には、平均年齢は60歳であり、定年規程を超える者は4名となり、その割合は40%であった。令和3年5月1日現在、平均年齢は59歳であり、定年規程を超える者は3名となり、その割合は30%である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等(特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ)ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(現代ビジネス学部公共経営学科)	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に専任教員(7名)のうち定年規程を超える者は3名であり、その割合は42.9%であった。令和2年5月1日には、設置時と同様、専任教員(7名)のうち定年規程を超える者は3名であり、その割合は42.9%であった。令和3年5月1日現在、専任教員(8名)の平均年齢は56歳、定年規程を超える者は3名であり、その割合は37.5%である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等(特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ)ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(現代ビジネス学部公共経営学科)	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に、入学定員60名に対して、新入生は36名であった。令和3年5月1日現在、新入生は57名であり、その割合は95%である。	履行中	引き続き、教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努める。

	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（看護学研究科看護学専攻（D））	【AC】 指摘事項 （改善）	設置時に専任教員（16名）のうち定年規程を超える者は7名であり、その割合は44%であった。平成30年5月1日には定年規程を超える者6名が在職しており、その割合は40%であった。令和元年5月1日には、定年規程を超える者は5名となり、割合は33.3%と改善された。令和2年5月1日には、定年規程を超える者は6名であり、その割合は40%であった。令和3年5月1日現在、定年規程を超える者は5名となり、その割合は38.5%である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
設置計画履行状況 調 査 結 果 （令和4年度）	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（教育学部児童教育学科）	【AC】 指摘事項 （改善）	設置時に専任教員（17名）のうち定年規程を超える者は2名であり、その割合は12%であった。平成30年5月1日には定年規程を超える者9名が在職しており、その割合は47.4%であった。平成31年4月1日付けで34歳の教員採用を行ったが、令和元年5月1日には定年規程を超える者が10名となったため、その割合は55.6%であった。令和2年5月1日には、平均年齢は56歳であり、定年規程を超える者は5名となり、その割合は33.3%であった。令和3年5月1日には、平均年齢は56歳であり、定年規程を超える者は7名で、その割合は41.2%であった。令和4年5月1日現在、平均年齢は57歳であり、定年規程を超える者は6名で、その割合は37.5%である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科）	【AC】 指摘事項 （改善）	設置時に専任教員（10名）のうち定年規程を超える者は3名であり、その割合は30%であった。平成30年5月1日には定年規程を超える者4名が在職しており、その割合は44.4%であった。令和元年5月1日には、平均年齢は61歳、定年規程を超える者が5名となり、その割合は55.6%であった。令和2年5月1日には、平均年齢は60歳であり、定年規程を超える者は4名となり、その割合は40%であった。令和3年5月1日には、平均年齢は59歳であり、定年規程を超える者は3名となり、その割合は30%であった。令和4年5月1日現在、平均年齢は59歳であり、定年規程を超える者は2名となり、その割合は22.2%である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。

	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（現代ビジネス学部公共経営学科）	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に専任教員（７名）のうち定年規程を超える者は３名であり、その割合は４２．９％であった。令和２年５月１日には、設置時と同様、専任教員（７名）のうち定年規程を超える者は３名であり、その割合は４２．９％であった。令和３年５月１日には、専任教員（８名）の平均年齢は５６歳、定年規程を超える者は３名であり、その割合は３７．５％であった。令和４年５月１日現在、専任教員（１０名）の平均年齢は５７歳、定年規程を超える者は４名であり、その割合は４０％である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
	教育内容の充実等を通じて、入学定員未充足の改善に努めること。（現代ビジネス学部公共経営学科）	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に、入学定員６０名に対して、新入生は３６名であった。令和３年５月１日には、新入生は５７名であり、その割合は９５％であった。令和４年５月１日現在、新入生は３７名であり、その割合は６１．７％である。	履行中	引き続き、教育内容の充実等を通じて、入学定員未充足の改善に努める。
	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（看護学研究科看護学専攻（Ｄ））	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に専任教員（１６名）のうち定年規程を超える者は７名であり、その割合は４４％であった。平成３０年５月１日には定年規程を超える者６名が在職しており、その割合は４０％であった。令和元年５月１日には、定年規程を超える者は５名となり、割合は３３．３％と改善された。令和２年５月１日には、定年規程を超える者は６名であり、その割合は４０％であった。令和３年５月１日には、定年規程を超える者は５名となり、その割合は３８．５％であった。令和４年５月１日現在、定年規程を超える者は６名となり、その割合は４６．２％である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
設置計画履行状況 調 査 結 果 （令和５年度）	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（教育学部児童教育学科）	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に専任教員（１７名）のうち定年規程を超える者は２名であり、その割合は１２％であった。平成３０年５月１日には定年規程を超える者９名が在職しており、その割合は４７．４％であった。平成３１年４月１日付けで３４歳の教員採用を行ったが、令和元年５月１日には定年規程を超える者が１０名となったため、その割合は５５．６％であった。令和２年５月１日には、平均年齢は５６歳であり、定年規程を超える者は５名となり、その割合は３３．３％であった。令和３年５月１日には、平均年齢は５６歳であり、定年規程を超える者は７名で、その割合は４１．２％であった。令和４年５月１日には、平均年齢は５７歳であり、定年規程を超える者は６名で、その割合は３７．５％であった。令和５年５月１日現在、平均年齢は５６歳であり、定年規程を超える者は６名で、その割合は３７．５％である。	履行中	平成３０年・平成３１年・令和５年４月１日付で、３９歳以下の若手教員を採用している。また、令和２年・令和３年４月１日付で４０代の教員を採用している（令和４年度は教員採用を実施していない）。 引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。

定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科）	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に専任教員（10名）のうち定年規程を超える者は3名であり、その割合は30%であった。平成30年5月1日には定年規程を超える者4名が在職しており、その割合は44.4%であった。令和元年5月1日には、平均年齢は61歳、定年規程を超える者が5名となり、その割合は55.6%であった。令和2年5月1日には、平均年齢は60歳であり、定年規程を超える者は4名となり、その割合は40%であった。令和3年5月1日には、平均年齢は59歳であり、定年規程を超える者は3名となり、その割合は30%であった。令和4年5月1日には、平均年齢は59歳であり、定年規程を超える者は2名となり、その割合は22.2%であった。令和5年5月1日現在、平均年齢は59歳であり、定年規程を超える者は2名となり、その割合は20%と改善された。	履行済	平成30年度の定年規程を超える者の割合は44.4%であった。令和5年度の定年規程を超える者の割合は、20%となり、改善傾向にある。引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（現代ビジネス学部公共経営学科）	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に専任教員（7名）のうち定年規程を超える者は3名であり、その割合は42.9%であった。令和2年5月1日には、設置時と同様、専任教員（7名）のうち定年規程を超える者は3名であり、その割合は42.9%であった。令和3年5月1日には、専任教員（8名）の平均年齢は56歳、定年規程を超える者は3名であり、その割合は37.5%であった。令和4年5月1日には、専任教員（10名）の平均年齢は57歳、定年規程を超える者は4名であり、その割合は40%であった。令和5年5月1日現在、専任教員（10名）の平均年齢は58歳、定年規程を超える者は4名であり、その割合は40%である。	履行中	現代ビジネス学部公共経営学科は、令和2年度に学科を開設し令和5年度に完成年度を迎える。令和6年3月末に再雇用（特別任用職員）の契約が満了する教員（70歳に達する教員）がいることから、令和6年4月採用の教員公募を計画している。引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（現代ビジネス学部公共経営学科）	【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	設置時に、入学定員60名に対して、新入生は36名であった。令和3年5月1日には、新入生は57名であり、その割合は95%であった。令和4年5月1日には、新入生は37名であり、その割合は61.7%であった。令和5年5月1日現在、新入生は53名であり、その割合は88.3%である。	履行中	令和3年度の入学定員充足率は95%まで回復したが、令和4年度の入学試験において志願者が減少し入学定員充足率が61.7%となった。減少要因を分析すると、県内志願者の減少が大きく影響していることが分かり、学科の認知が浸透していないことが判明した。令和5年度は、県内を中心に学科広報を強化した。具体的には、教育の内容をより分かりやすくするようにホームページを改修し、中国地区・四国地区・九州地区へ広告の掲出を実施した。結果としてオープンキャンパスの来場者は前年比152.4%、出願件数は126%、志願者実人数119%と大幅に改善した。令和5年度に完成年度を迎えるため、第1期の卒業生の就職実績も学生募集広報でPRできると考えており、令和4年度と同様に県内および隣県への広報を強化することで、入学定員未充足の改善に努める。

定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（看護学研究科看護学専攻（D））	【A C】 指摘事項 （改善）	設置時に専任教員（16名）のうち定年規程を超える者は7名であり、その割合は44%であった。平成30年5月1日には定年規程を超える者6名が在職しており、その割合は40%であった。令和元年5月1日には、定年規程を超える者は5名となり、割合は33.3%と改善された。令和2年5月1日には、定年規程を超える者は6名であり、その割合は40%であった。令和3年5月1日には、定年規程を超える者は5名となり、その割合は38.5%であった。令和4年5月1日には、定年規程を超える者は6名となり、その割合は46.2%であった。令和5年5月1日現在、定年規程を超える者は7名となり、その割合は58.3%である。	履行中	引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。
---	--------------------------------	--	------------	---

- （注）・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）（5）」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<現代ビジネス学部 公共経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成16年度「安田女子大学・安田女子短期大学FD委員会」を設置した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和4年度1回開催（開催日：令和4年4月21日、参加者：21名）

c 委員会の審議事項等

- ・授業方法の改善について（授業公開、授業アンケートの実施とそのフィードバック等）
- ・学生調査について（学生実態調査とそのフィードバック等）
- ・FD・SD研修会について
- ・3つのポリシーの点検・検証 等

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員相互の授業参観
- ・新任教員のための研修会 等

b 実施方法

- ・FD・SD研修会の開催
- ・オリエンテーションの実施

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・令和4年度に合計5回のFD研修会を開催
 - 第1回 チューター研修会（開催日：令和4年4月1日（金）、参加者：105名、対象：チューター）
 - 第2回 新任教員対象研修会（開催日：令和4年4月7日（木）、参加者：21名、対象：新任者）
 - 第3回 新任教員ミーティング（開催日：令和4年6月23日（木）、参加者：14名、対象：新任教員）
 - 第4回 研究費の適正な執行について～研究費執行に関する研究倫理・コンプライアンス教育～
（開催日：令和4年7月14日（木）、参加者：198名、対象：全教員）
 - 第5回 卒業研究等における倫理委員会への申請について
（開催日：令和5年2月22日（水）、参加者：10名、対象：公共経営学科教員）
 - ・学期毎に学生への授業アンケートを実施
結果及び学科長による総評（フィードバック）は学内に公開（掲示）
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学全体として、自己点検・評価委員会を中心にFD委員会と連携して、教員の資質向上を促進。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

前期および後期の授業終了時期（13～15回目の授業時）に原則として大学・短大に開講する全科目を対象に実施。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等

常勤教員は、翌学期開始前に担当科目の集計結果をWEBから閲覧。
非常勤講師には、翌学期開始前に担当科目の結果を配付。
学生には、各学科の集計結果に学科長のコメントを付し、翌学期に学内に掲示。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現代ビジネス学部公共経営学科は、「公共」「法律」「経済」「経営」の知識と幅広い教養、コミュニケーション能力、情報化・グローバル化に対応する交渉能力を兼ね備え、理論と実践の融合を図る公共経営の専門家であり、そして行政・企業・NPOなどの組織において社会のニーズや問題に対応して「新しい価値を創造」し、社会・地域の発展に寄与できる人材を養成することを目的としている。本目的を達成するために、教育課程は、1～3年次開講のものについては、令和5年4月現在、全て計画通りに開講している。また、官公庁等約10事業所の見学実習や行政と連携した「地域課題解決プロジェクト」、行政機関などでのインターンシップ（就業体験）等を実施しており、公共的な仕事は多様であり各事業所がどのように社会に貢献しているのかを実際に現場で体感することで、本目的を達成できるように教育・研究を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年5月1日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の認証評価を受審。「適合」との評価を受けた。
第3タームの認証評価は、規程に則り令和5年度に受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。